OWNER'S MANUAL

RA-18/DVA-18

この度はアメリカンサウンドシステムRA-18／DVA-18をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機を正しくお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。また、必要なときにご覧になれるように大切に保管しておくことをおすすめいたします。合わせて箱や梱包材も、後日修理メンテナンス等が必要になった場合のために保管しておくことをおすすめします。

RA-18／DVA-18 取扱説明書

※説明の便宜上、イラストは原型と異なる場合があります。

安全上の留意項目

ご使用の前に、この「安全上の留意項目」をよくお読みになり、正しくお使いください。

この「安全上の留意項目」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示について

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

△記号は注意を促す内容を告げるものです。（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

⚠ 警告

	●この製品は、一般家庭内用器具です。落下、脱落、焼損、火傷、火災、感電、腐食、変形などの原因となりますので、以下の場所ではご使用にならないでください。 ・振動や衝撃の影響を受けるところ　・腐食性ガスや可燃性ガス、粉じんの影響を受けるところ ・サウナ風呂などの湿度が高くなるところ　・湿度の高いところ
	●熱器具の近くや直射日光のあたるところには設置しないでください。そのような場所で使用しますと、火災の原因となります。
	●この機器を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。
水場での使用禁止	●風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
	●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加工したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。
	●電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて火災・感電の原因となります。
	●電源コードを発熱する機器に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災•感電の原因となることがあります。
	●電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	●電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。
	●電源プラグは定期的に掃除してください。ほこりなどがたまると、火災などの原因となります。
	●表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。 ●この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。
分解禁止	●この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。 ●この機器は改造しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠ 警告

使用禁止	●雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。
電源プラグをコンセントから抜け	●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。 ●万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 ●万一内部に異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	●万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	●この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。
	●この機器の通風孔、ディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
	●乾電池は、充電しないでください。電池の破損、液もれにより、火災・感電の原因となります。
	●本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところへ置かないでください。まちがえてかぶったりすると窒息する恐れがあります。
	●スピーカーコードの上に重いものをのせたり、コードが製品の下敷きにならないようにしてください。また、壁や棚などの間にはさみ込んだりしないでください。スピーカーコードを傷つけて火災の原因となります。
	●スピーカー内部に金属片や異物などを落とさないでください。ショートや発熱などを起こし、火災の原因となります。
	●スピーカーコードを熱器具の近くや直射日光のあたるところには近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災の原因となります。
	●スピーカーコードを人が通るところなど引っ掛かりやすい場所に這わせないでください。つまずいて転倒したり、スピーカーが落下し、けがや事故の原因となります。
	●スピーカーを分解したり改造しないでください。破損や火災の原因となります。
	●シンナーやベンジン、アルコールなどの揮発性の薬品やクレンザーなどは、変色や傷を付ける原因となりますので使用しないでください。
	●This set is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.

⚠ 注意

	●万一の事故防止のため、この機器を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてください。
	●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。 ●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
	●移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。 ●ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。 ●窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災・感電の原因となることがあります。 ●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

●旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

●お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

●5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長時間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。

●アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

※送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

●お子様がディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。

●電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。

電池を使用する機器のみ

●電池を機器内に挿入する場合、極性表示⊕と⊖の向きに注意し、表示通りにいれてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災･けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

●長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

●ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げ過ぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

●ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所は避けて置いてください。また、設置場所の強度は重みに耐えられるものにしてください。落下して、けがや事故の原因となります。

●スピーカーを高いところに設置される場合には、作業が不安定になりますので作業時のけがや事故には十分ご注意ください。

●定格を超える入力を入れた状態や長時間音が歪んだ状態で使用しないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

●高いところに設置される場合には、不意な衝撃に対して落下しないよう固定してください。固定しないまま使用しますと、落下し、けがや事故の原因となります。

●電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液漏れして、火災･けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

･指定以外の電池を使用しない
･電池の⊕（プラス）と⊖（マイナス）を間違えない
･電池の⊕（プラス）と⊖（マイナス）をショートさせない
･電池を加熱させない
･分解しない
･火や水の中に入れない
･新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
･種類の違う電池と混ぜて使用しない
･乾電池は充電しない
･長時間使わないときは、電池を取り出しておく

もし、電池が液漏れをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭き取ってとってください。万一漏れた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

目次

はじめに

安全上の留意項目 ……2
こんなことができます ……6
セッティングのしかた ……7
付属品 ……7

接続について

接続について ……8
スピーカーの接続 ……10
ヘッドホンで楽しむとき ……10
アンテナの接続 ……12

準備･基本操作

リモコンの取り扱いについて ……14
時計を合わせる（24時間表示） ……16
電源のON／STANDBY（スタンバイ） ……16
表示部の明るさの調整 ……18
音量の調整 ……19
システム設定画面について ……20
メニューバーで操作する ……24
IMAGE（画質の調整）について ……42

ディスクの再生

ディスク再生 ……26
ディスク再生❶ ……26
ディスク再生❷ ……28
数字キーでチャプター／トラックを選ぶ ……30
停止する ……30
一時停止する ……31
画面を一コマずつ送る ……31
早送り／早戻し ……32
約5分ごとに送る／戻す ……32
頭出し ……33
約10秒前から再生し直す（10sec REP） ……33
スロー再生 ……33
メニューから選ぶ❶ ……34
メニューから選ぶ❷ ……34

便利な機能

お好みの順番で再生する（プログラム再生） ……36
ランダム再生 ……38
リピート再生 ……38
指定した範囲を繰り返し再生する（A-Bリピート） ……40
字幕を切り換える ……40
音声を切り換える ……41
アングル(角度)を切り換える ……42
画像を拡大する（ズーム） ……43

その他の機器を聴く

その他の機器聴く ……44

ラジオを聴く

ラジオを聴く ……44
放送局の登録と呼び出し ……46

タイマー

タイマーの使い方 ……48
スリープタイマー ……50

各部の名称および機能

リモコン ……52
ステレオレシーバー（RA-18） ……56
DVDプレーヤー（DVA-18） ……58
ステレオレシーバー（RA-18）の表示部 ……60
DVDプレーヤー（DVA-18）の表示部 ……61
DVA-18の表示部について ……60

その他

お手入れについて ……10
高域と低域のバランス調整 ……18
テレビの表示について ……51
ディスクについて ……65
言語コード表 ……66
故障かな? ……68
仕様 ……70
保証 ……71

こんなことができます

■FM／AMラジオ

・ FM30局/AM15局の放送局を登録。
・ 周波数を自動で合わせるスキャンチューニング。
・ 受信可能な放送局を自動的に登録するオートプリセット機能。

■いろいろなディスク／ファイルを再生

・ DVDビデオディスク、音楽CDはもちろんのこと、自分で録音、録画したファイルも再生することができます（MP3／WMA／JPEG／ASF／MPEG1／MPEG2）。

■最適なサウンド再生を実現するボーズ・テクノロジー

・ ボースの独自技術P.A.P.回路により、どんな音量でも常に最適な音響バランスを実現
・ リスニングルームの構造からの影響を受けやすい周波数帯のみを調整するR.A.C.（ルーム・アコースティック・コンペンセーター／ BASS、TREBLE調整）

■多彩なタイマー機能

・ ONCE（1度だけ）、毎日、月曜から金曜まで、月曜から土曜までと、ライフスタイルにあわせて自由に設定可能
・ 指定時間の後自動的に電源が切れるスリープタイマー機能

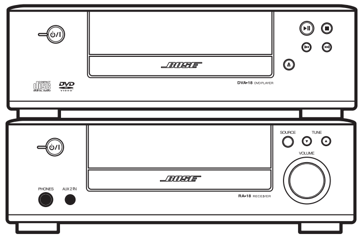
■テレビの電源のON／OFF、チャンネル、入力切替、テレビのミュート（消音）の操作も可能なリモコン

セッティングのしかた

標準的な設置

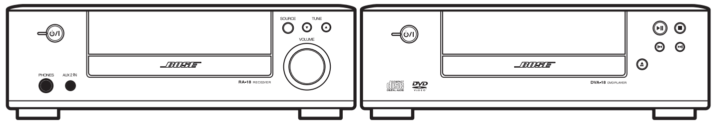
●縦置きの場合

DVA-18
RA-18



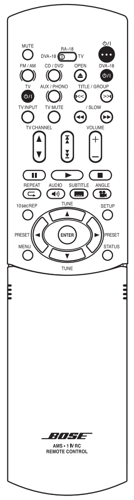
●横置きの場合

RA-18　DVA-18

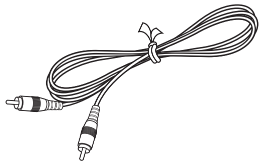


付属品

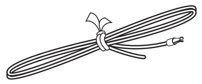
次の付属品がそろっていることをご確認ください。



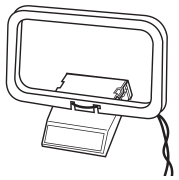
リモコン 1個



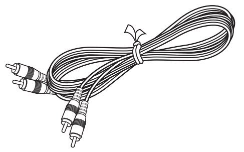
ビデオケーブル 1本
（2m）



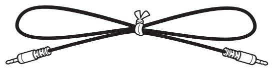
FMアンテナ 1本



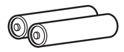
AMループアンテナ 1個



オーディオピンケーブル 1本
（0.5m）



システムコントロールケーブル 1本
（1m）



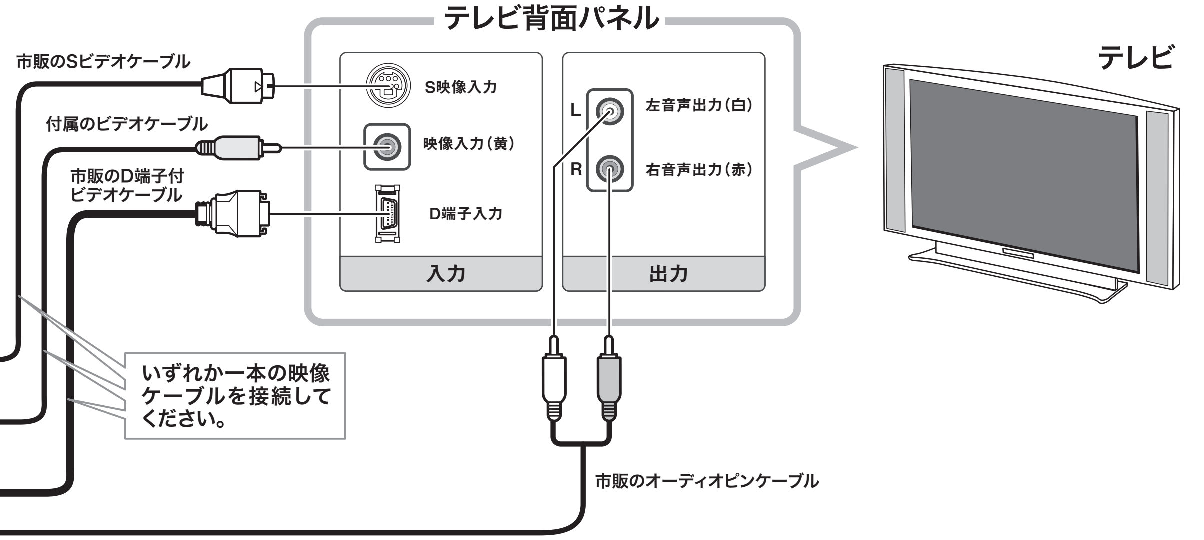
単3型乾電池
2個（チェック用）

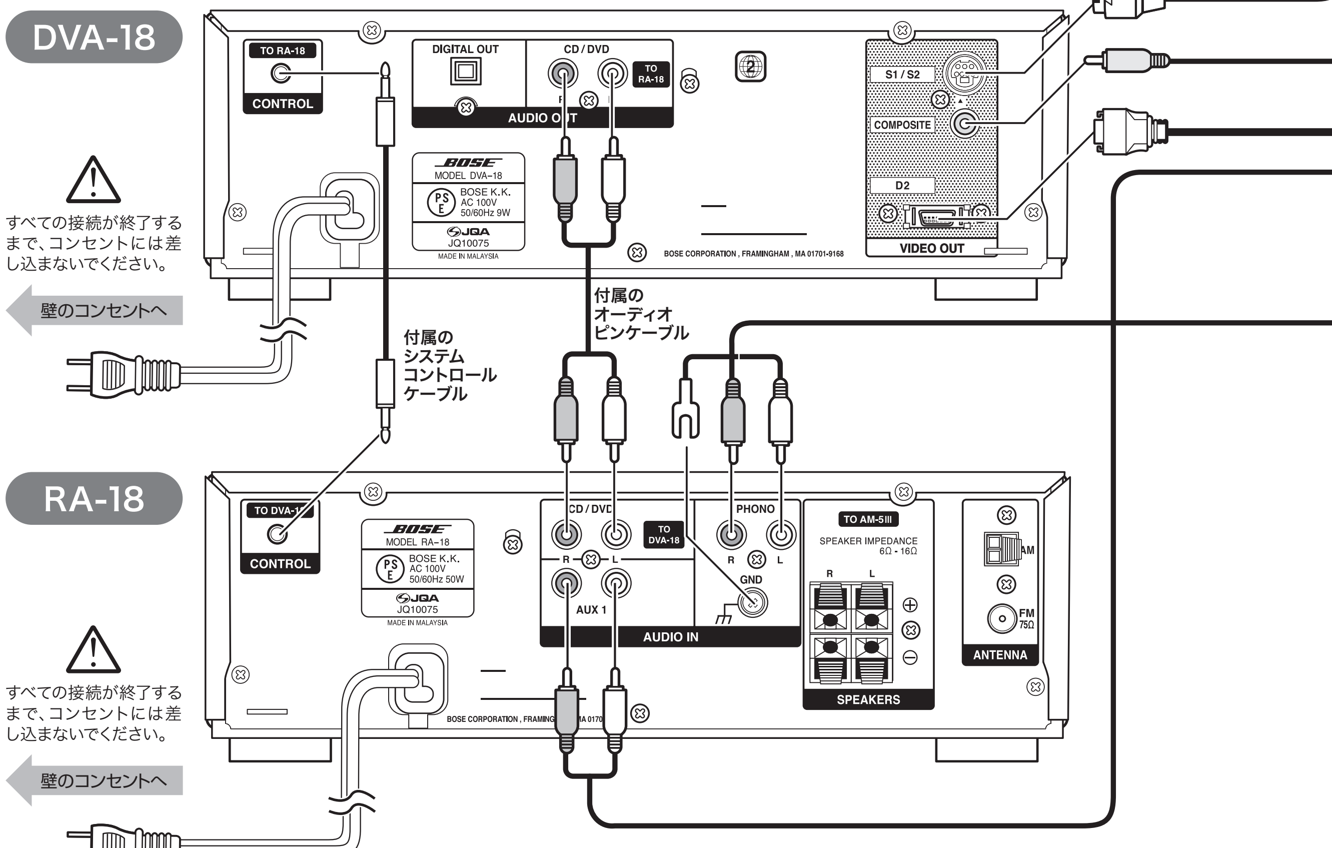
接続について

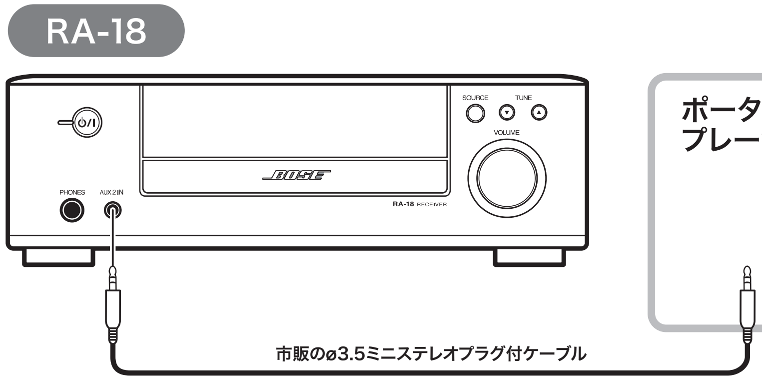
すべての接続が終了するまで、ステレオレシーバー（RA-18）、DVDプレーヤー（DVA-18）の電源プラグは、コンセントには差し込まないでください。

接続上の注意

- ●接続する前に、本機に接続するオーディオ機器や映像機器の取扱説明書もよくお読みください。
- ●左右チャンネル、入力出力端子をよく確かめて、正しく（LとL、RとR）接続してください。
- ●プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音発生の原因になります。
- ●システムコントロールケーブルは、雑音低減のため、アンテナ線から離してください。

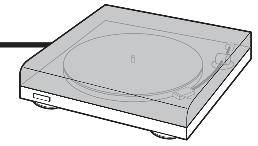






ポータブルオーディオプレーヤーなど

MM型レコードプレーヤー



※レコードプレーヤーをお使いになるときは、PHONO入力端子のショートピンプラグを外してから接続してください。PHONO端子はノイズを拾いやすいので、レコードプレーヤーを接続していないときはショートピンプラグをはめておいてください。

●ビデオケーブル（付属品）で接続する場合
COMPOSITE出力端子と付属のビデオケーブルでテレビと接続します。

●Sビデオケーブル（市販）で接続する場合
S1／S2出力端子と市販のSビデオケーブルでテレビと接続します。
本機のS映像出力端子は、S1およびS2映像信号に対応しています。

●D端子付ビデオケーブル（市販）で接続する場合
D2出力端子と市販のD端子付ビデオケーブルでテレビと接続します。
お使いのテレビの端子に合わせて、映像信号方式を設定してください。

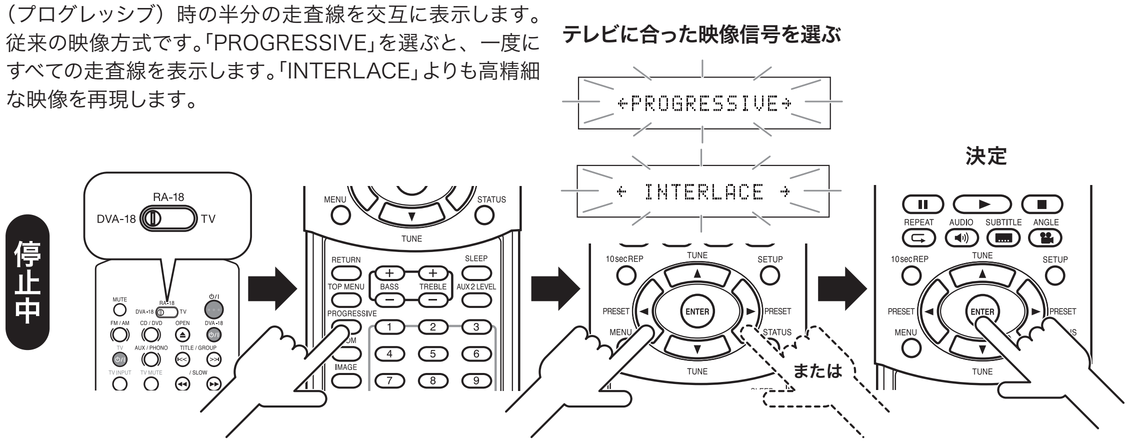
・D1端子のときは「INTERLACE」（インターレース）に設定してください。
・D2～D4端子のときは「PROGRESSIVE」（プログレッシブ）に設定してください。

注意：Sビデオケーブル、D端子付ビデオケーブルはどちらかを使用してください。両方を使用すると、映像が正しく再生されないことがあります。

・本機のD映像信号は、D2信号まで対応します。
・本機は、D1～D4映像入力を持つテレビと接続できます。

●映像方式の設定のしかた

「INTERLACE」（インターレース）を選ぶと「PROGRESSIVE」（プログレッシブ）時の半分の走査線を交互に表示します。従来の映像方式です。「PROGRESSIVE」を選ぶと、一度にすべての走査線を表示します。「INTERLACE」よりも高精細な映像を再現します。



スピーカーの接続

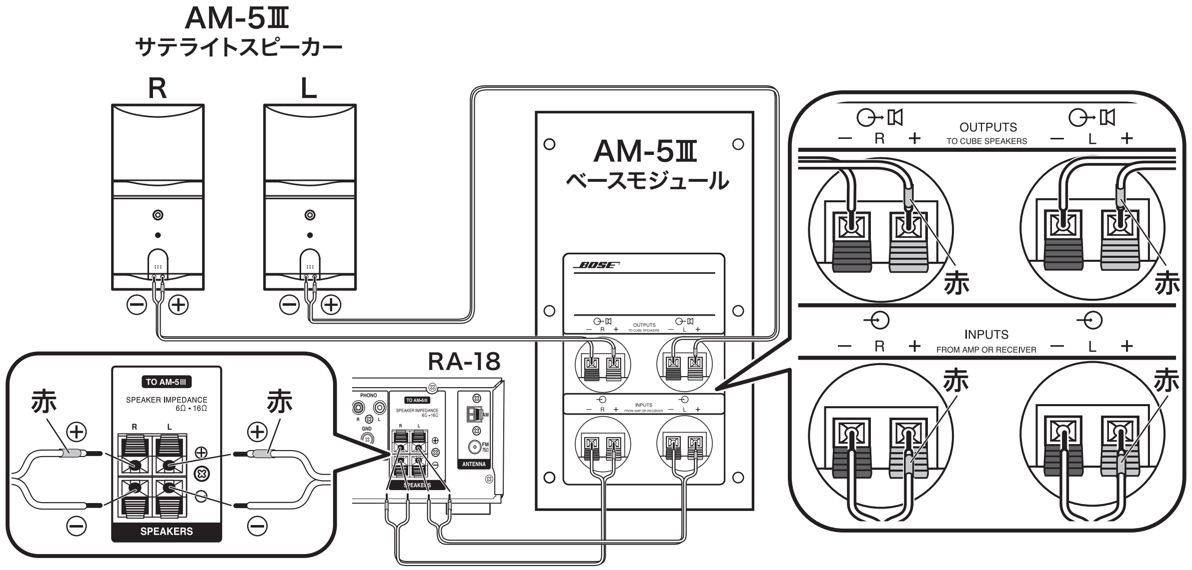
AM-5Ⅲとの接続

スピーカーシステムの接続について

正面からみて左側に置くスピーカーシステムをL端子に、右側に置くスピーカーシステムをR端子に接続してください。また、RA-18のスピーカー端子とスピーカーシステムは、必ず同じ極性（⊕と⊕、⊖と⊖）を接続してください。左右いずれかの極性を間違えて接続すると、中央の音が抜けたようになり楽器の位置がはっきりせず、ステレオの方向感を損なうばかりでなく、全く低音が出なくなりますのでご注意ください。詳しくはスピーカーシステムの取扱説明書をご覧ください。

⚠注意

スピーカーコードの芯線部分がスピーカー端子内部の金属部分に確実に接触するように差し込み具合を確かめてください。差し込みが不完全だったり、差し込みすぎて被覆の部分で締めつけたりするとスピーカーから音が出ません。また、スピーカーコードの芯線がはみだしたりして、他の端子に接触しないように注意してください。



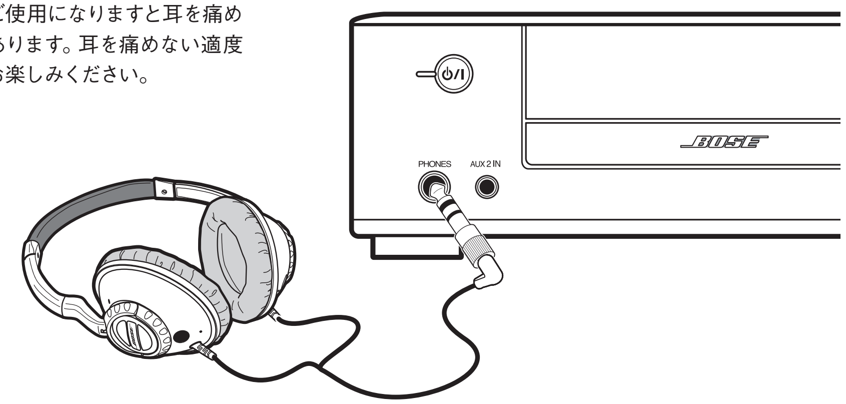
ヘッドホンで楽しむとき

ヘッドホンプラグを正面パネルのPHONES端子に挿入してください。プラグを差し込むと自動的にスピーカーからの音が止まります。

⚠注意

ヘッドホンをご使用になるときは、音量にご注意ください。あまり大きな音で長時間ご使用になりますと耳を痛める場合があります。耳を痛めない適度の音量でお楽しみください。

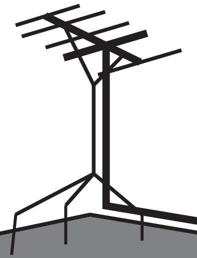
RA-18



お手入れについて

- 汚れやほこりは柔らかい布でから拭きしてください。
- 汚れがひどい時は、中性洗剤を薄めた柔らかい布を浸し、堅く絞って拭き取ってから、柔らかい布でから拭きしてください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどの薬品は、製品の表面をいためますので、ご使用にならないでください。また、スプレー式の殺虫剤、芳香剤などもかからないようにご注意ください。
- ディスクトレーの掃除は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を使って、表面を傷つけないように、汚れを軽く拭き取ってください。

アンテナを接続しないと放送は受信できません。
FMアンテナを良好に受信するために、FM専用の屋外アンテナを使用することをおすすめします。
※電波の状況は、地域によって異なります。必ず地元の電器店または、電気工事店にご相談ください。



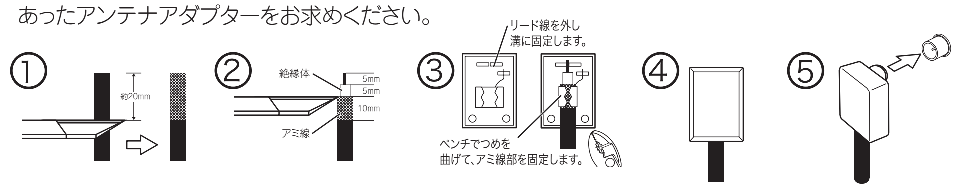
アンテナは雑音低減のため、システムの背面から離して設置してください。

※屋外アンテナの設置は専門の業者に依頼することをおすすめします。

屋外アンテナの接続

市販のアンテナアダプターと75Ω同軸ケーブルの接続方法

アンテナアダプターはお使いになる同軸ケーブルの太さによって異なります。同軸ケーブルの太さにあったアンテナアダプターをお求めください。

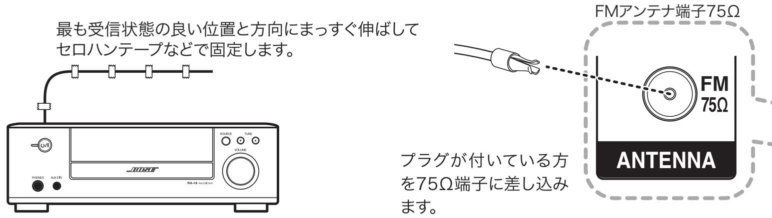


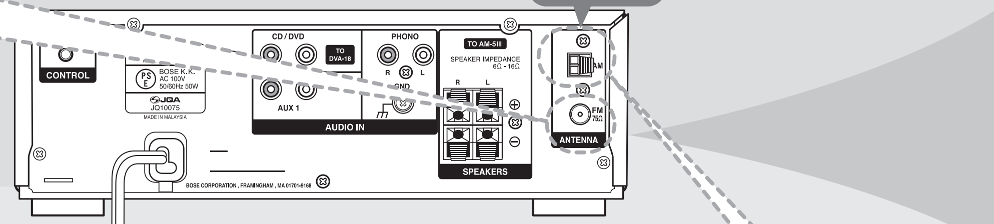
① 外の被覆をナイフなどで約20mm切り取ります。
② 同軸ケーブルを図のように加工します。
③ アンテナアダプターを開け、同軸ケーブルを取付けます。
④ アンテナアダプターのフタをしめます。
⑤ アンテナ端子に取り付けます。

FMアンテナの接続

付属のFMアンテナをFM75Ωアンテナ端子に接続します。アンテナは先端を延ばし、放送を聴きながら受信が最良になるようにアンテナの方向を決めて、天井や壁に固定してください。このときアンテナの位置が低いと、人が通るたびに受信が不安定になります。

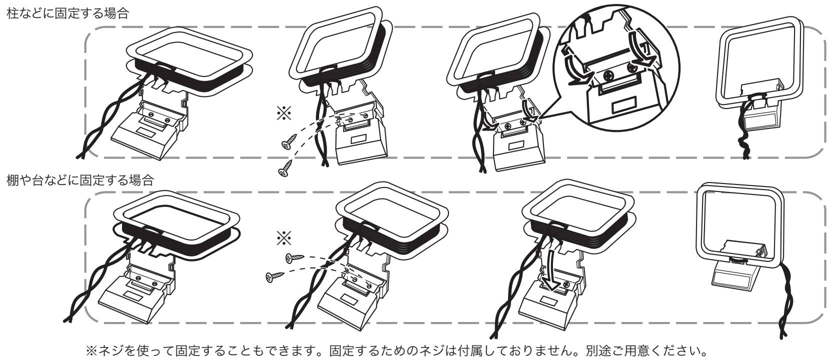
※付属のFMアンテナは屋外アンテナを立てるまで暫定的にFM放送を受信するためのものです。音質が良く雑音の少ない受信をするためには、屋外アンテナをご使用することをおすすめします。





AMループアンテナの接続

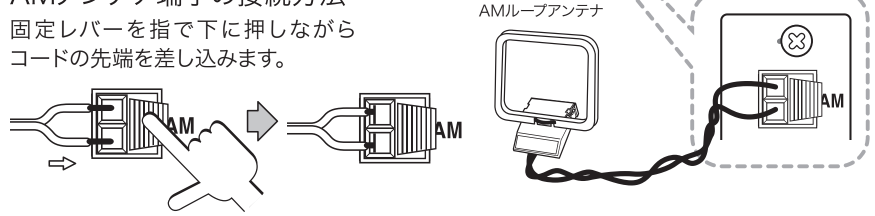
AMループアンテナは図のように組み立ててからAMループアンテナ端子に接続します。



※ネジを使って固定することもできます。固定するためのネジは付属しておりません。別途ご用意ください。

AMアンテナ端子の接続方法

固定レバーを指で下に押しながらコードの先端を差し込みます。

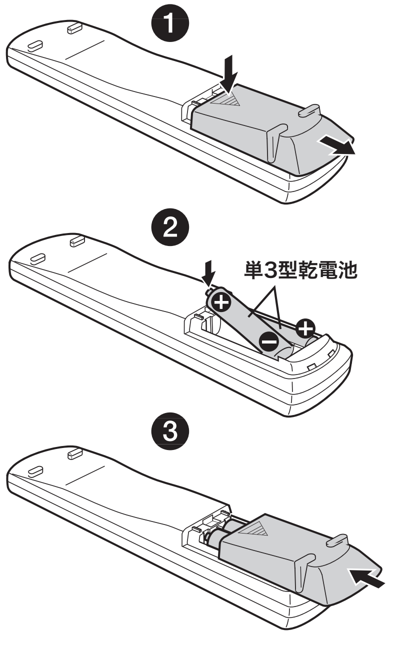


ループアンテナは放送を聴きながら最良の受信状態になる場所をさがして設置してください。受信状態は設置する向きによっても変わりますので、最良の受信状態になる向きにしてください。AMループアンテナを次のような場所に設置すると受信状態が悪くなります。

- 電源コードやスピーカーコードの近く。
- 本機の上や後ろやビデオデッキ、テレビの近く。
- 蛍光灯の近く。

リモコンの取り扱いについて

電池の入れ方

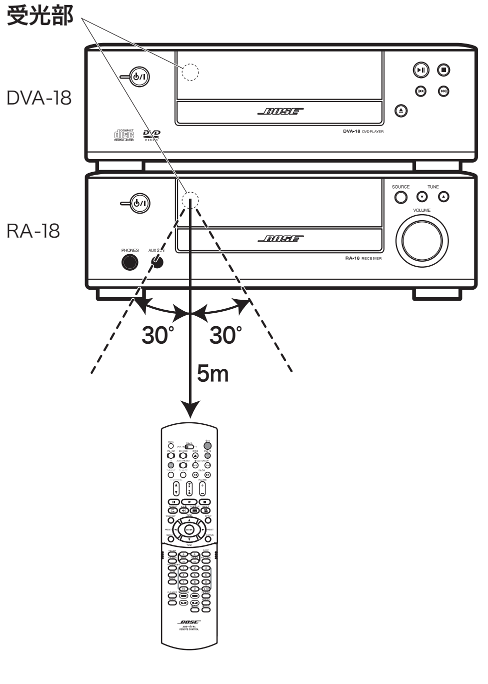


電池についての注意

- 乾電池は単3型（R6、LR6）乾電池をご使用ください。
- 乾電池の⊕と⊖の向きを電池ケースに表示されているとおりに正しく入れてください。
- 新しい乾電池と古い乾電池、または、種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は絶対に充電しないでください。
- 長い間（1ヶ月以上）リモコンを使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。

付属の乾電池は動作チェック用です。
早めに新しい乾電池と交換してください。

リモコンの動作範囲



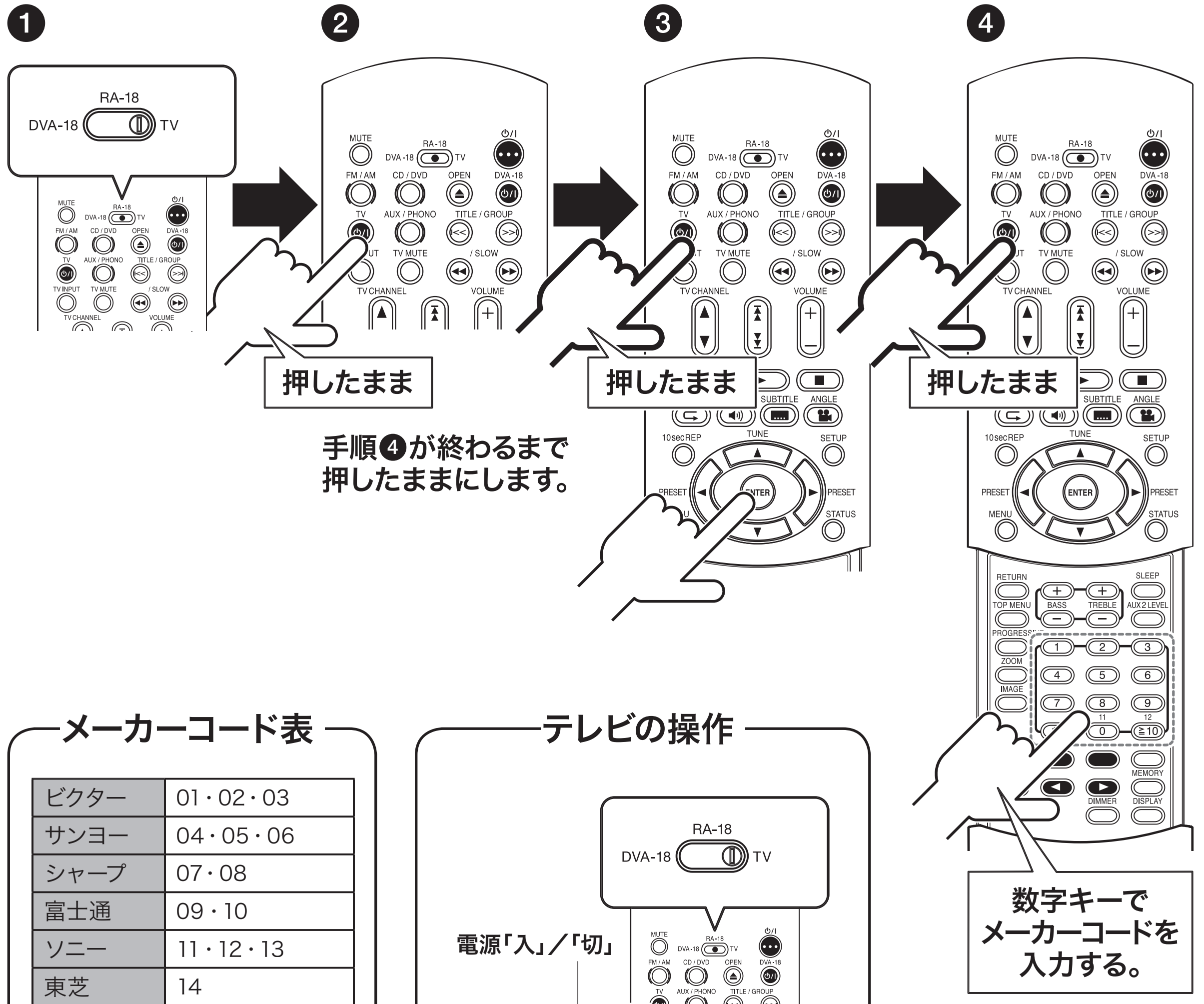
使用上の注意

- RA-18、DVA-18の受光部に直射日光や照明の強い光が当たっていると、リモコンの操作ができないことがあります。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますので、ご注意ください。
- リモコンとRA-18の受光部の間に障害物があったり、受光部との角度が悪いとリモコン操作ができないことがあります。

電池の交換時期について

リモコンの電池が消耗すると、リモコンの動作範囲が狭まってきて効きが悪くなってきます。このような症状が出てきたらリモコンの乾電池を2本とも新しい乾電池に交換してください。

リモコンでテレビを操作する　テレビメーカーコードの設定

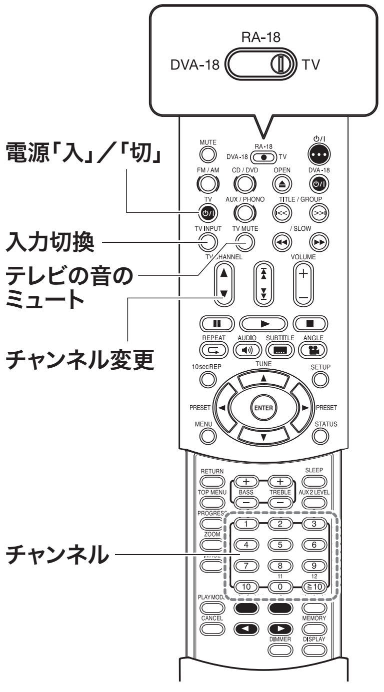


メーカーコード表

ビクター	01・02・03
サンヨー	04・05・06
シャープ	07・08
富士通	09・10
ソニー	11・12・13
東芝	14
NEC	15
パイオニア	16
日立	17・18
フナイ	19・20・21・22
松下	23・24・25・26
三菱	27

- ●2つ以上の番号（メーカーコード）がある場合、順番に試してみて、正しく動作する番号を選んでください。
- ●メーカーコードは予告なく変更されることがあります。上記のメーカー製テレビでも操作できないことがあります。

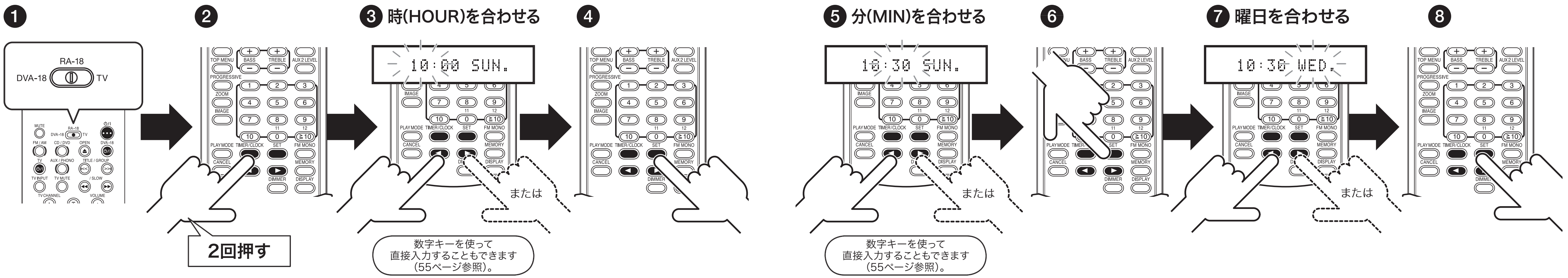
テレビの操作



※テレビ音量の調節はできません（ミュートのみ）。

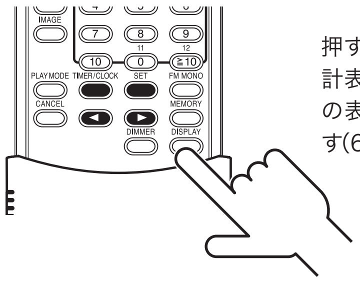
●リモコンの電池を交換したときは、メーカー設定をやり直してください。

時計を合わせる(24時間表示)　例：水曜日の10時30分に合わせる



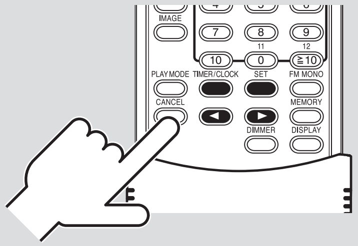
時計表示の切り換え

電源ON時



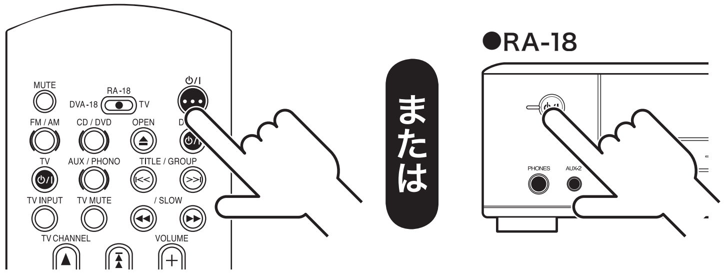
押すたびに表示部が時計表示と時計表示以外の表示に切り換わります(60ページ参照)。

前の項目に戻るには



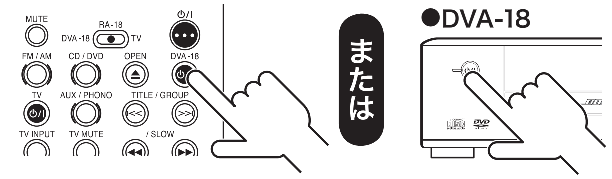
● レシーバー(RA-18)の電源コードをコンセントから抜いたり、停電などで電源が切れたときに、時計の設定は約1分間保存されます。

電源のON／STANDBY(スタンバイ)



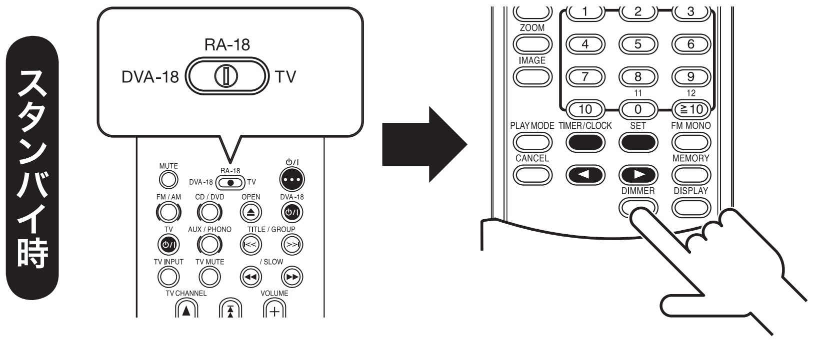
電源を切る直前にFM、AMまたはAUX(1、2)、PHONOを選んでいた場合は、(電源)キーを押して電源を入れてもDVA-18の電源は入りません。(CD／DVD)キーまたは、(再生)キーを押すと、自動的にDVA-18の電源が入りディスクの再生を始めます。

DVDプレーヤー(DVA-18)だけをON／OFFする場合



スタンバイ時に時計の表示を消灯することもできます(ECONOMY MODE)

スタンバイ時

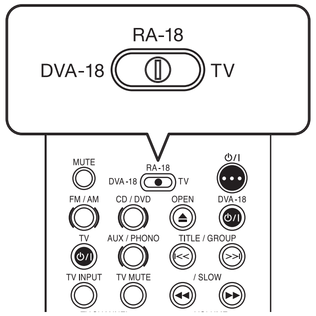


ECONOMY MODEと表示されて消灯します。もう一度押すと時計の表示に戻ります。

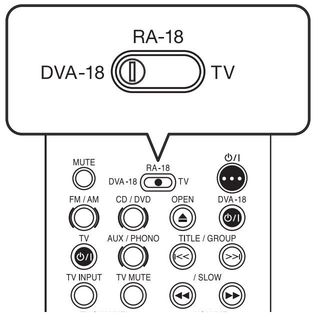
表示部の明るさの調整

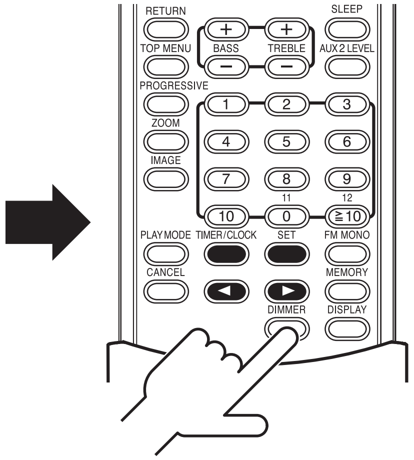
電源ON時

●レシーバー（RA-18）の場合



●DVDプレーヤー（DVA-18）の場合





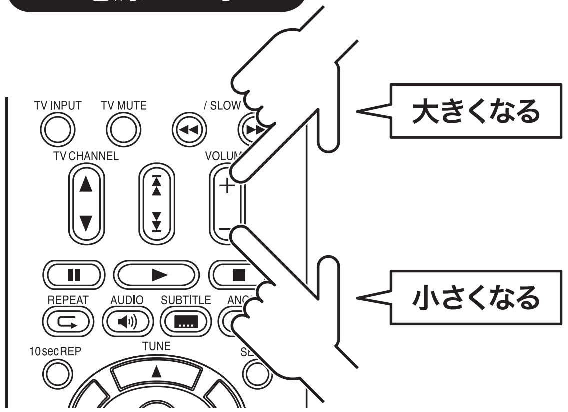
押すたびに表示部の明るさが変わる

DIMMER 1
↓
DIMMER 2
↓
DIMMER AUTO※
↓
DIMMER OFF

※DIMMER AUTOにすると通常は「DIMMER OFF」として動作します。DVDビデオなど映像が記録されているディスクの再生中は自動的に「DIMMER 2」として動作します。

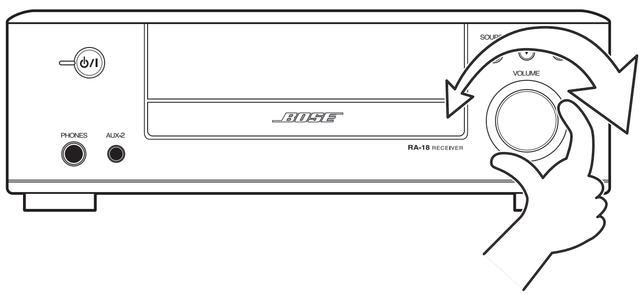
音量の調整

電源ON時

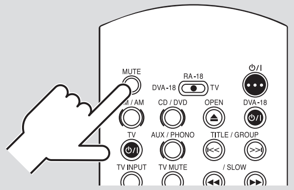


または

●RA-18



一時的に音を消したい場合

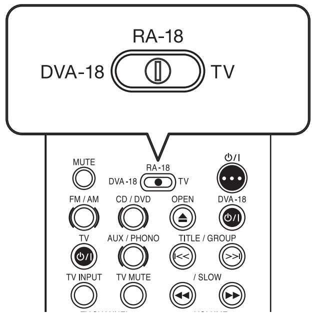


もう一度押すと元の音量に戻ります。

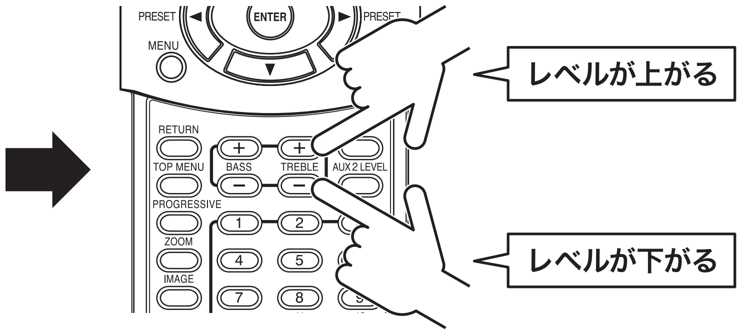
高域と低域のバランス調整

部屋の音響効果は、ステレオシステムの全体的な音質に影響を与えることがあります。ルーム・アコースティック・コンペンセーター機能を上手に使って、よりよい音響効果が得られるように、部屋の特性に合わせて調整してください。

電源ON時



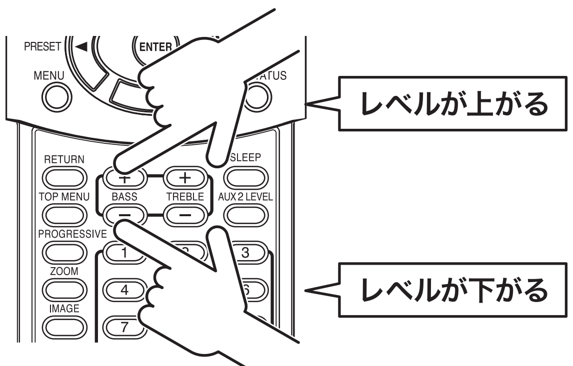
高域部分の調整



TREBLE +2dB

●調整範囲：+10〜−10(2dBステップ)

低域部分の調整

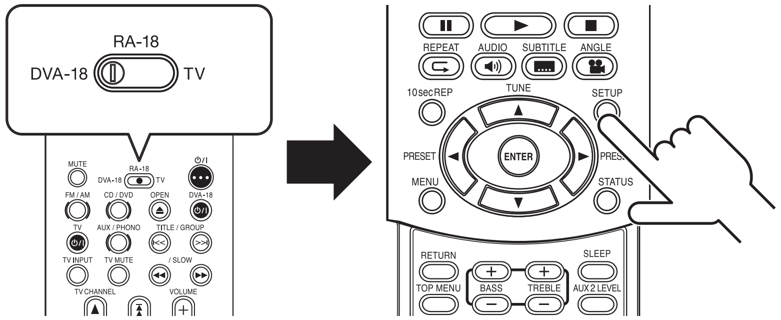


BASS +2dB

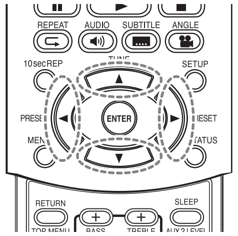
●調整範囲：+4〜−10(2dBステップ)

システム設定画面について

停止中またはディスクが入っていないとき

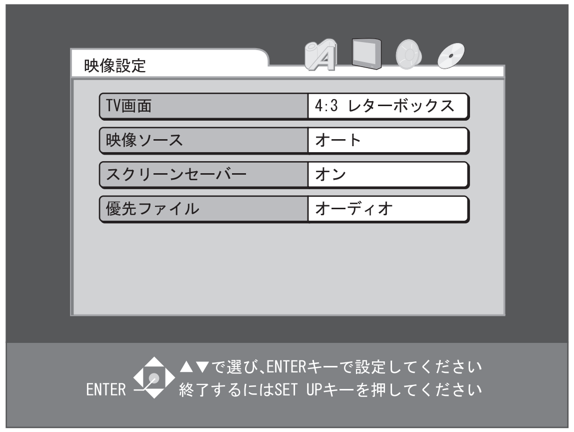


設定項目および内容を変更するには

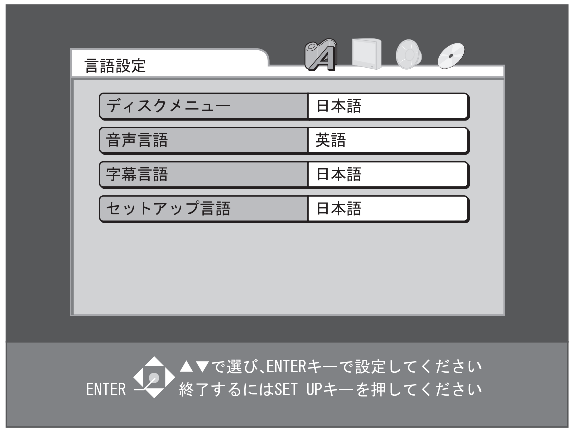


カーソルキーで変更、ENTERキーで確定します。

●映像設定画面



●言語設定画面



項目	設定	デフォルト	内容
ディスクメニュー	英語／スペイン語／フランス語／中国語／ドイツ語／イタリア語／日本語／ロシア語／…	日本語	DVDビデオのメニューの言語を選びます。
音声言語	英語／スペイン語／フランス語／中国語／ドイツ語／イタリア語／日本語／ロシア語／…	英語	DVDビデオの音声の言語を選びます。
字幕言語	オフ／英語／スペイン語／フランス語／中国語／ドイツ語／イタリア語／日本語／ロシア語／…	日本語	DVDビデオの字幕の言語を選びます。
セットアップ言語	日本語／英語	日本語	設定画面に表示される言語を選びます。

●選んだ言語がディスクに収録されていないときは、そのディスクに最適な言語で表示されます。

●「AA」などの言語コードについては、「言語コード一覧(65ページ参照)」をご覧ください。

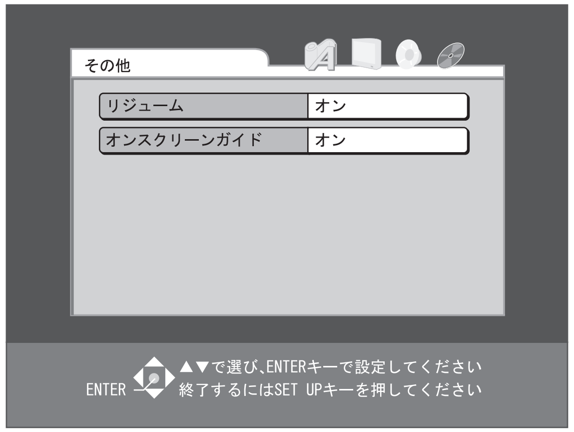
項目	設定	デフォルト	内容
TV画面	16：9 ワイド／ 4：3 レターボックス／ 4：3 パンスキャン	4：3 レターボックス	• **ワイド**：ワイドテレビと接続したとき、この設定にします。 • **レターボックス**：従来(4：3)のテレビ用。横長の映像は上下に黒い隙間が表示されます。 • **パンスキャン**：従来（4：3)のテレビ用。横長の映像左右が切り取られます（ディスクがパンスキャン非対応のときはレターボックス表示になります。)。
映像ソース	オート／フィルム／ビデオ	オート	映像ソースに適した設定を選びます。 • **オート**：素材のタイプ（ビデオ／フィルム）を自動的に判断します。 • **フィルム**：フィルム素材またはプログレッシブスキャン方式で記録されたビデオ素材の映像に適しています。 • **ビデオ**：ビデオ素材の映像に適しています。
スクリーンセーバー	オン／オフ	オン	スクリーンセーバーのオン／オフを選びます。 ※スクリーンセーバーは静止画が表示されてから約5分操作がないときに動作します。
優先ファイル	オーディオ／静止画／ビデオ	オーディオ	1枚のディスクに異なる種類のファイル(オーディオ／静止画／ビデオ)が複数記録されているときに、どの種類のファイルを再生するか選びます。 • **オーディオ**：MP3 ／ WMAファイルを再生します。 • **静止画**：JPEGファイルを再生します。 • **ビデオ**：ASF ／ MPEG1 ／ MPEG2ファイルを再生します。

システム設定画面について

●音声設定画面

項目	設定	デフォルト	内容
ビットストリーム	リニアPCMのみ／DOLBY DIGITAL／DTS.DOLBY DIGITAL	DTS.DOLBY DIGITAL	デジタル出力端子に接続する機器（AVアンプなど）に合わせて出力信号の種類を次から選べます。 ・**リニアPCMのみ**：リニアPCMのみに対応している機器。 ・**DOLBY DIGITAL**：ドルビーデジタルデコーダーまたは同機能を持つ機器。 ・**DTS.DOLBY DIGITAL**：DTS／ドルビーデジタルデコーダーまたは同機能を持つ機器。
ダウンミックス	ドルビーサラウンド／ステレオ	ステレオ	接続した機器に合わせて、デジタル出力端子からの信号を切り換えます。「デジタルアウト」を「PCMのみ」にしているとき設定します。 ・**ドルビーサラウンド**：ドルビープロロジックデコーダー内蔵の機器。 ・**ステレオ**：通常の機器。
D.RANGE COMPRESSION	オート／オン	オート	小音量で再生したとき、大きな音と小さな音の聞こえ方の差を補正します（ドルビーデジタルで収録されたDVD のみ）。 ・**オート**：ディスクの情報に従ってD レンジコンプレッションが自動的に働く。 ・**オン**：D レンジコンプレッションが常に働く。

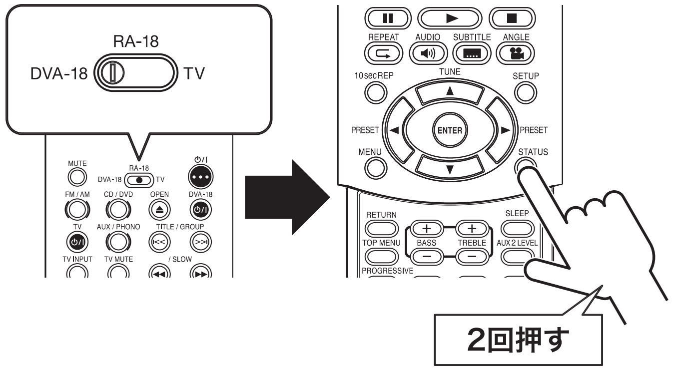
●その他設定画面



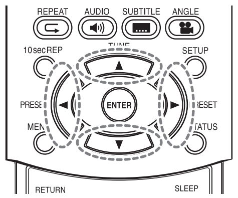
項目	設定	デフォルト	内容
リジューム	オン／オフ	オン	オン／オフを選ぶ（30ページ参照）
オンスクリーンガイド	オン／オフ	オン	オン／オフを選ぶ（51ページ参照）

●メニューバーの表示

再生中



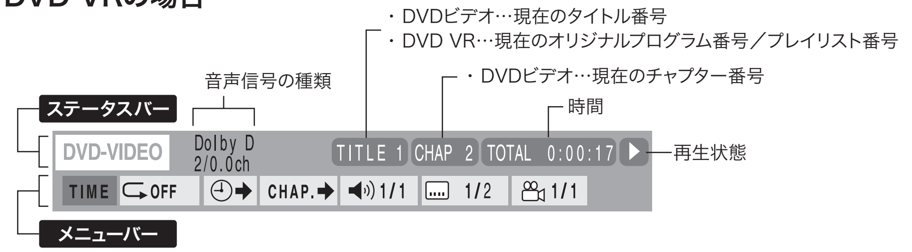
設定を変更するには



◀または▶キーで項目に移動して、ENTERキーで選択します。次に▲または▼キーあるいは数字キーで各設定を行い、ENTERキーで確定します。

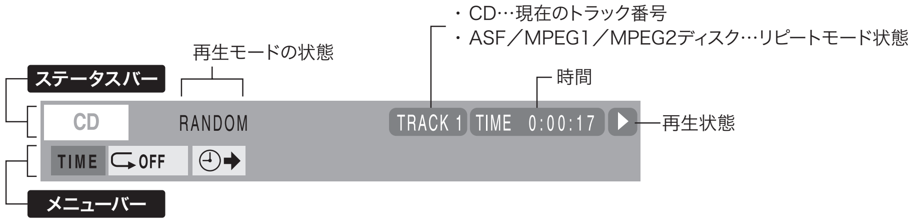
●DVDビデオ・DVD VRの場合

例：DVDビデオ



●CD・ASF・MPEG1・MPEG2 ディスクの場合

例：CD



※ASF ／ MPEG 1 ／ MPEG 2ディスクの場合、メニューバーは表示されません。

機能一覧

TIME **時間表時選択**	DVDプレーヤーの表示窓とステータスバーに表示される時間情報のモード選択。ENTERキーを押す度にモードが切り換わる。 **DVDビデオの場合** TOTAL …タイトル／グループの経過時間 T.REM …タイトル／グループ残り時間 TIME …チャプター／トラックの経過時間 REM …チャプター／トラックの残り時間 **DVD VRの場合** TOTAL …タイトル／グループの経過時間 T.REM …タイトル／グループ残り時間 **CDの場合** TOTAL …ディスクの先頭からの経過時間 T.REM …ディスクの残り時間 TIME …トラックの経過時間 REM …トラックの残り時間
OFF **リピートモード**	38ページを参照。
タイムサーチ	メニューバーを表示して、（タイムサーチ）を選んでENTERキーで決定します。次に数字キーを使って時間を入力します（例：0時間23分45秒から再生する場合：0➡2➡3➡4➡5）。ENTERキーを押して入力を決定します。
CHAP. **チャプターサーチ** **…DVDビデオ** **／DVD VR**	チャプターを選ぶ。数字キーを押してチャプター番号を入力し、ENTERキーを押す。 例　5：5　　10：1➡0　　24：2➡4
1/1 **音声** **…DVDビデオ**	41ページを参照。
1/2 **字幕** **…DVDビデオ**	40ページを参照。
1/1 **アングル** **…DVDビデオ**	42ページを参照。

ディスク再生

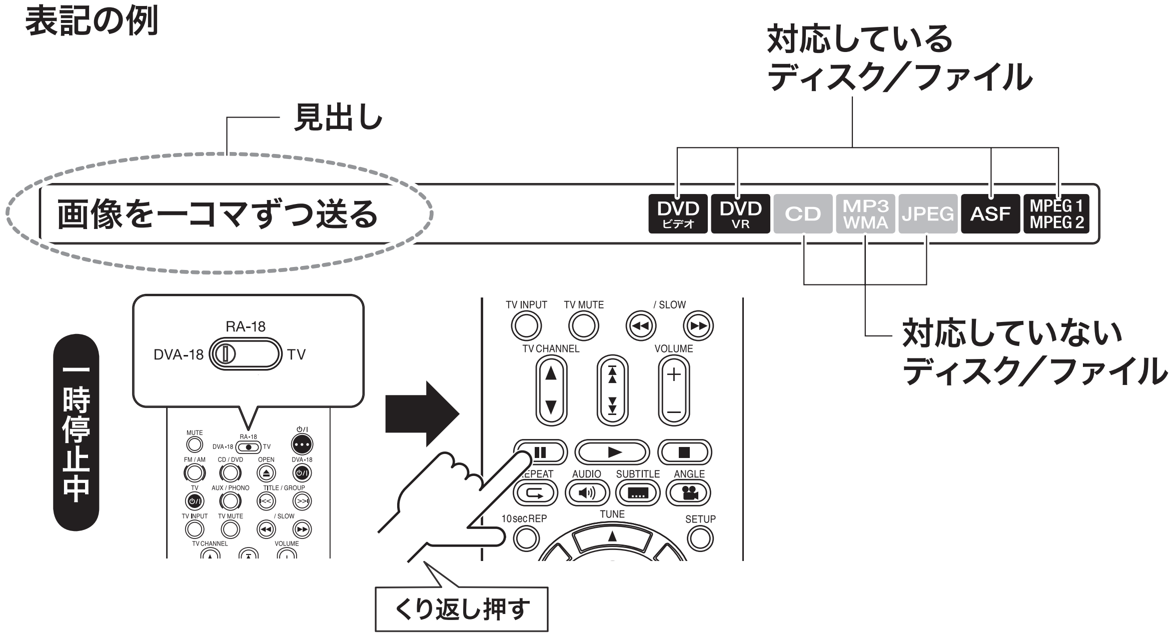
ディスク再生の前に

ディスク／ファイルの種類によって操作の方法や使える機能が異なります。この項ではその機能に対応するディスク／ファイルの種類を下表のマークを使って見出しの部分に表示しています。

DVD ビデオ	市販のDVDビデオディスクまたは、DVDビデオ形式で作成したDVD-R、DVD-RWなどのディスクに対応している場合。
DVD VR	DVD-VR方式で保存されているDVD-R、DVD-RWディスクが対応している場合
CD	市販の音楽CDに対応している場合。
MP3 WMA	MP3フォーマットまたはWMAフォーマットの音楽ファイルが含まれているディスクに対応している場合。
JPEG	JPEG、またはJPGフォーマットの静止画ファイルの含まれているディスクに対応している場合。
ASF	ASFフォーマットの動画ファイルが含まれているディスクに対応している場合。
MPEG 1 MPEG 2	MPEG-1フォーマットまたはMPEG-2フォーマットの動画ファイルが含まれているディスクに対応している場合。

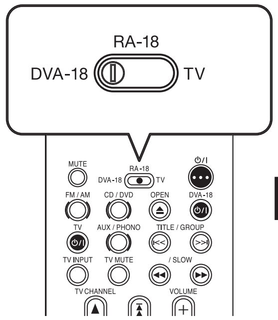
※上記のそれぞれのフォーマットについては62、63ページを参照。

表記の例

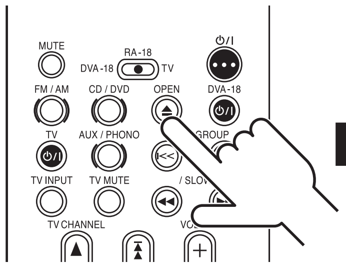


ディスク再生 ❶

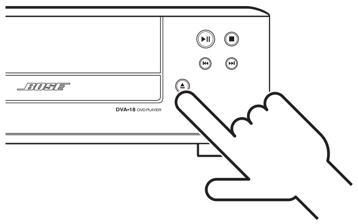
DVD ビデオ　DVD VR　CD　MP3 WMA　JPEG　ASF　MPEG 1 MPEG 2



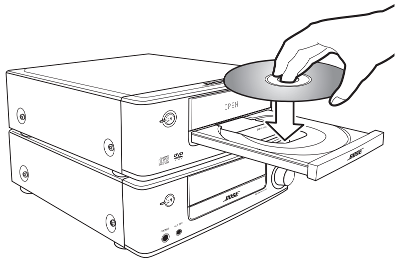
トレーを開く



DVA-18では ▲ ボタンを押す

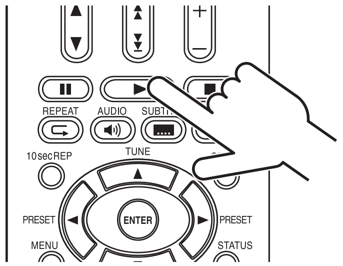


ディスクを入れる

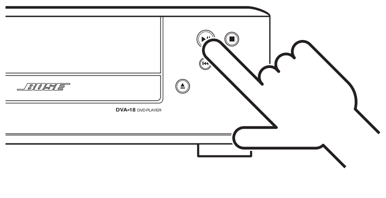


ディスクは、レーベル面を上にしてセットしてください。8cmシングルは内側のディスクガイドにセットしてください。ディスクは2枚以上重ねて置いたり、ディスク以外のものをトレーの上に置いたりしないでください。

再生

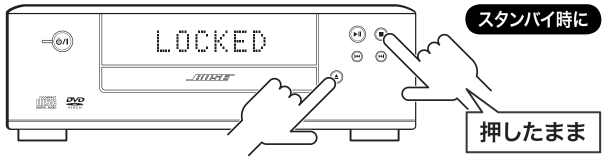


DVA-18では ▶II ボタンを押す



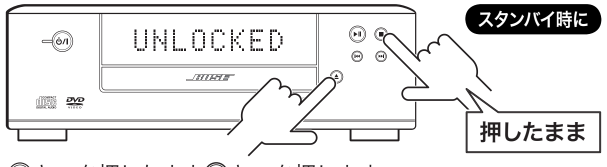
チャイルドロック

DVDプレーヤーに入れたディスクが取り出せないようにロックすることができます。



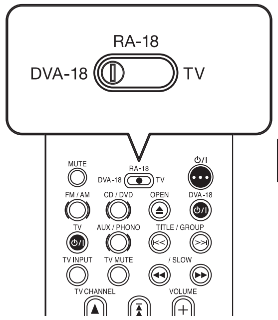
■キーを押したまま▲キーを押します。

●解除するにはもう一度、同じ操作をします。

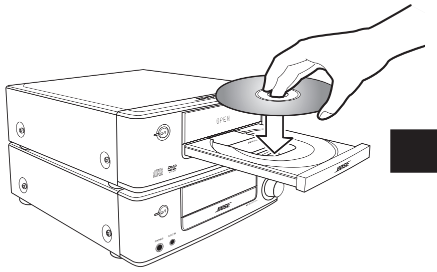


■キーを押したまま▲キーを押します。

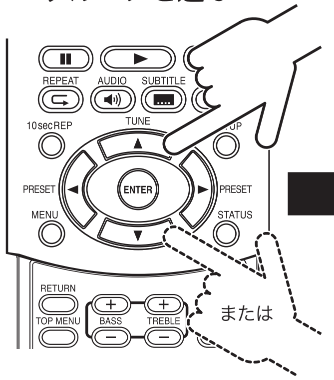
異なるファイルが2つ以上記録されているディスクのときは、どの種類のファイルを再生するかをあらかじめ設定してください（「優先ファイルの設定」21ページ参照）。

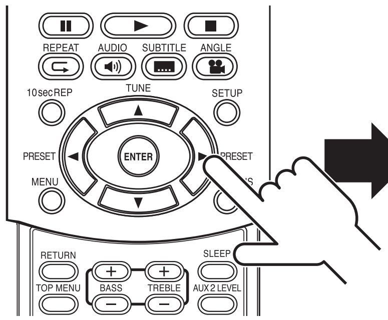


ディスクを入れる

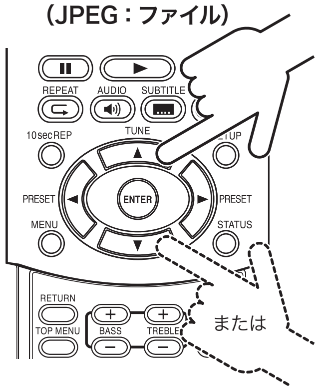


グループを選ぶ





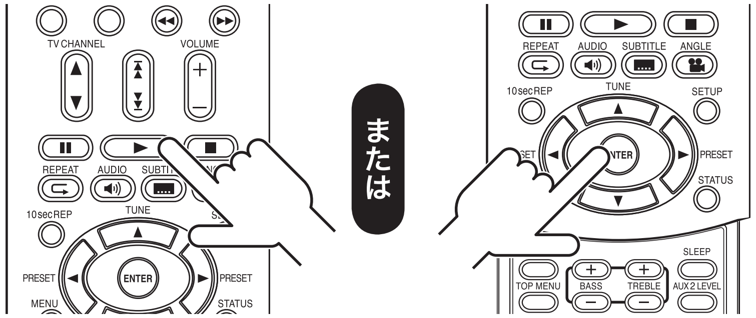
トラックを選ぶ
（JPEG：ファイル）



こんな方法も

トラックやファイルを選ぶときは ⏮／⏭、または数字キーで選ぶこともできます。

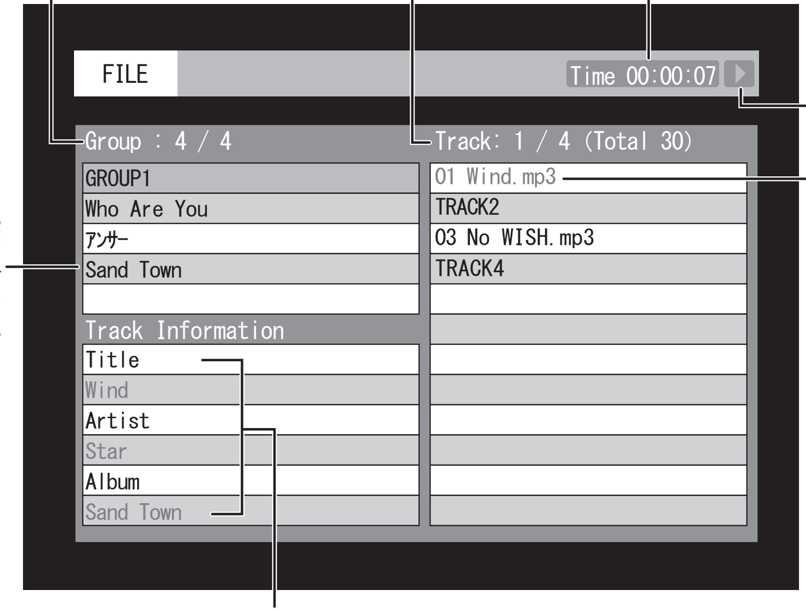
再生する



※JPEGディスクでは、▶キーを押すと、そのファイルから連続して再生（スライドショー再生）し、ENTERキーを押すと選んだファイルのみ再生します。スライドショー再生の表示時間は約3秒です。

現在のグループ番号とディスクに含まれる総グループ数

現在のトラック（ファイル）番号と現在のグループに含まれ総トラック数（総ファイル数）



現在のトラックの経過時間（MP3／WMA／ASFディスクのみ）

再生状態

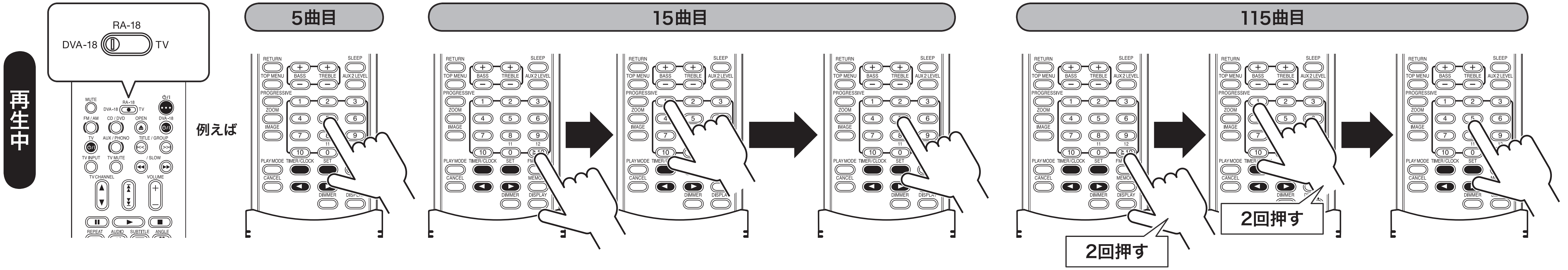
現在のトラック（ファイル）

現在のグループ

タグ情報（MP3／WMAディスクのみ）

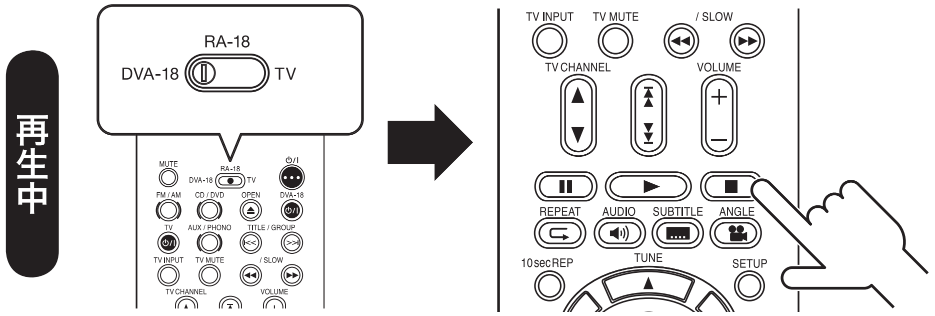
数字キーでチャプター／トラックを選ぶ

DVD ビデオ　DVD VR　CD　MP3 WMA　JPEG　ASF　MPEG1 MPEG2



停止する

DVD ビデオ　DVD VR　CD　MP3 WMA　JPEG　ASF　MPEG1 MPEG2



●あとで続きを再生する（リジューム） CD、JPEG以外のディスク

■キーを1回押すと、表示部に「*** RESUME」が点灯し、ディスクが停止します。
▶キーを押すと、前回停止させた近辺から再生を始めます。

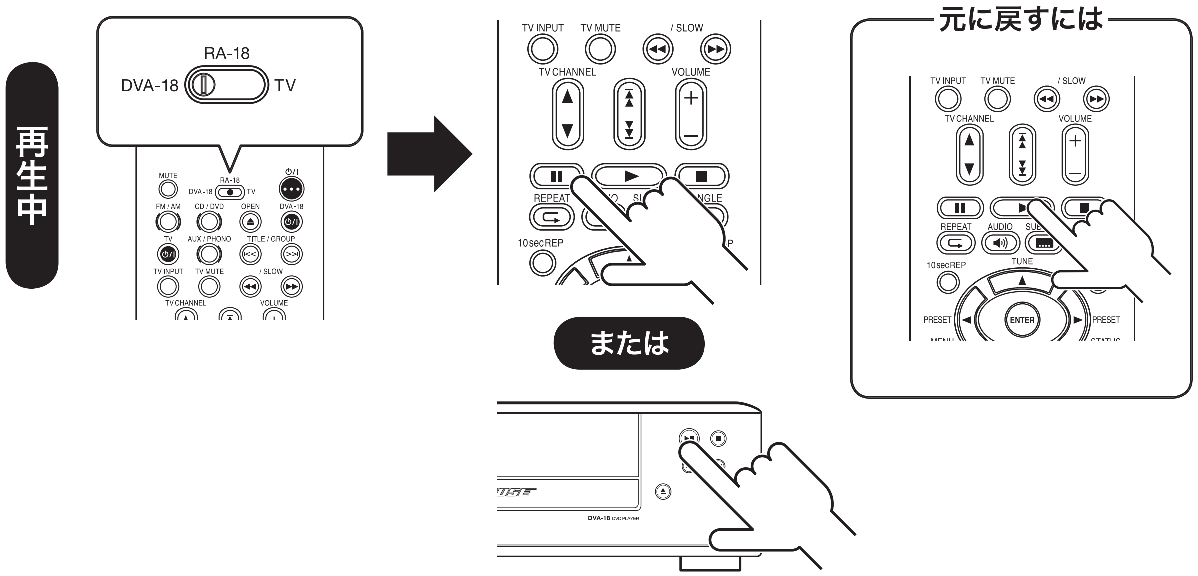
リジューム再生を解除するには

リジューム中に■キーを1回押して停止させる。

- ●プログラム再生やランダム再生ではリジューム再生機能は働きません。
- ●ディスクのメニューが表示されているときは、リジューム再生機能が働かないこともあります。
- ●ディスクトレーを開けるとリジューム再生を中止します。
- ●工場出荷時の設定はリジュームが「オン（リジュームする）」になっています。「オフ（リジュームしない）」に設定することもできます（23ページ参照）。

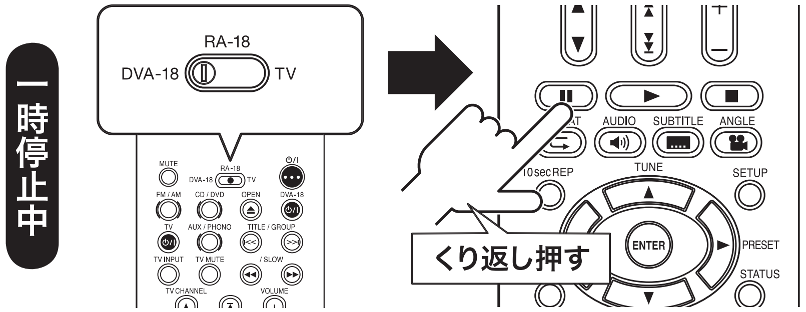
一時停止する

DVD ビデオ　DVD VR　CD　MP3 WMA　JPEG　ASF　MPEG1 MPEG2



画像を一コマずつ送る

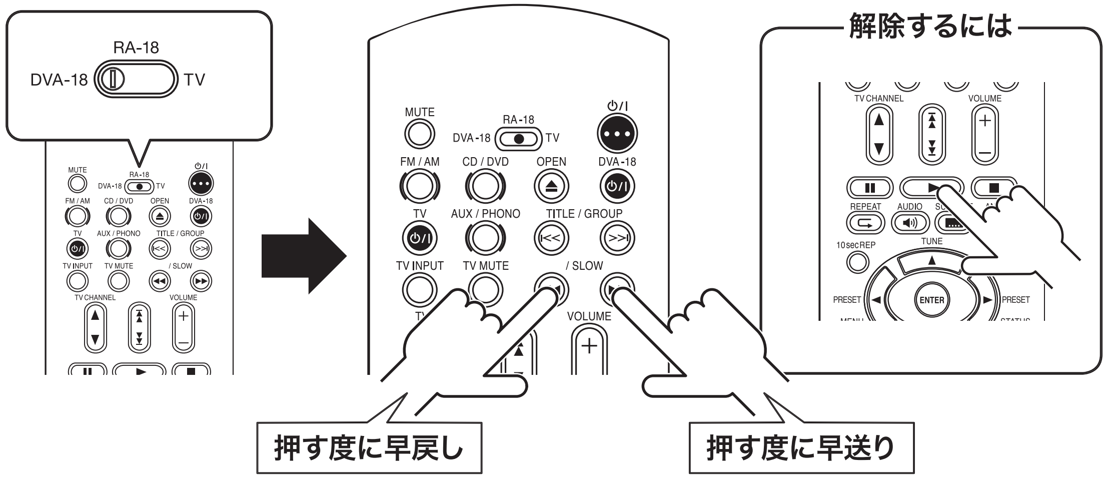
DVD ビデオ　DVD VR　CD　MP3 WMA　JPEG　ASF　MPEG1 MPEG2



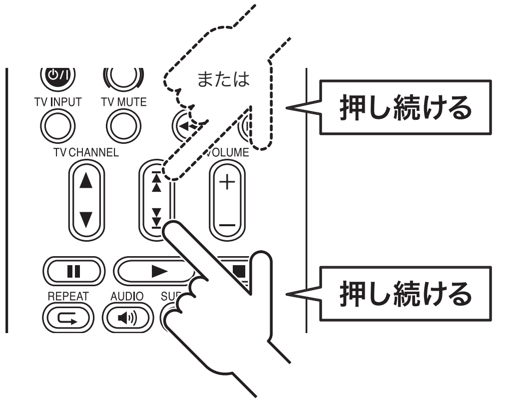
早送り／早戻し

DVD ビデオ　DVD VR　CD　MP3 WMA　JPEG　ASF　MPEG1 MPEG2

再生中



こんな方法も



ボタンを押している間だけ早送り／早戻しします

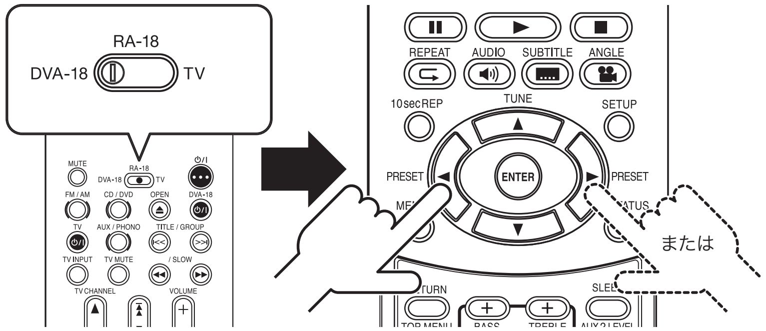
●ディスクによっては、音声が断続的になるものや、出ないものがあります。
●ディスクの種類によって、選べるスピードや表示が異なります。

約5分ごとに送る／戻す

DVD ビデオ　DVD VR　CD　MP3 WMA　JPEG　ASF　MPEG1 MPEG2

押すごとに前後の区切りに移動します。区切りと区切り間隔は5分です。

再生中

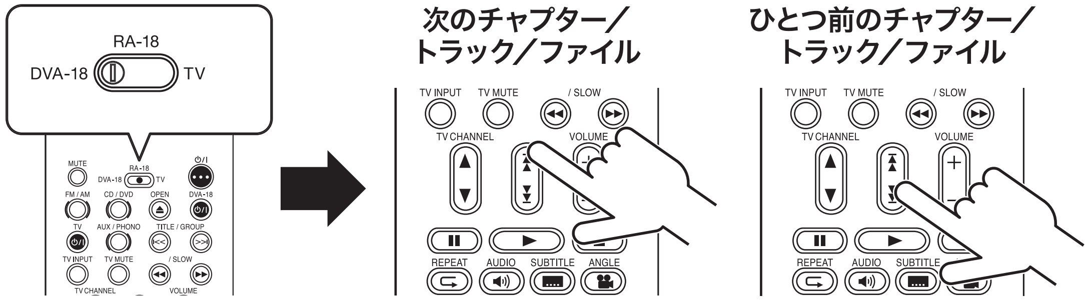


●区切りはファイルの頭から順に自動的に割り振られます。
●移動できるのは同じファイルの中だけです。
●ディスクによっては、この機能が使えません。

頭出し

DVD ビデオ　DVD VR　CD　MP3 WMA　JPEG　ASF　MPEG1 MPEG2

再生中



こんな方法も

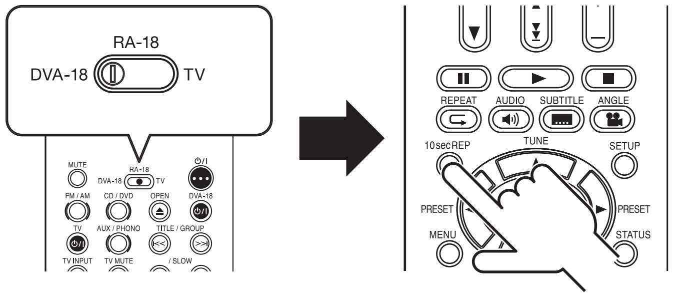
●タイトルやグループを選ぶときは⏭／⏮キーを押します。
●MP3／WMA／JPEG／ASFディスク再生中は、⏫または▼キーを押すと次のファイルが、⏬または▲キーを押すと一つ前のファイルが再生されます。

●DVDビデオのときを除いて、停止中も操作できます。このとき▲または▼キーを使うと、テレビ画面を見ながら頭出しすることができます。
●ディスクによっては、この機能が使えません。

約10秒前から再生し直す（10sec REP）

DVD ビデオ　DVD VR　CD　MP3 WMA　JPEG　ASF　MPEG1 MPEG2

再生中

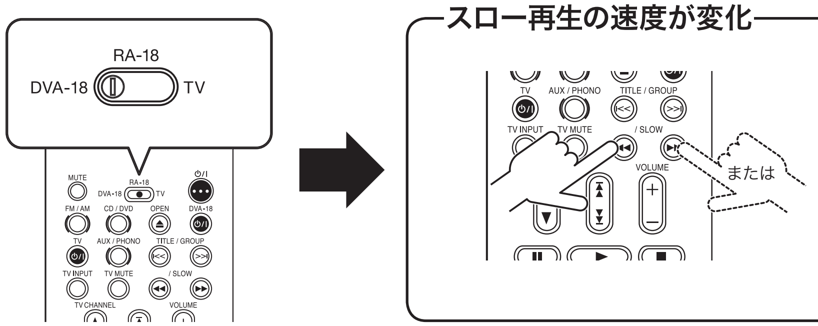


●ディスクによっては、この機能が使えません。
●一つ前のタイトルに戻ることはできません。

スロー再生

DVD ビデオ　DVD VR　CD　MP3 WMA　JPEG　ASF　MPEG1 MPEG2

一時停止中



押す度に、スピードが変わります。
・逆方向では動きがなめらかにならない場合があります。
・DVD VRでは、順方向のみスロー再生ができます。

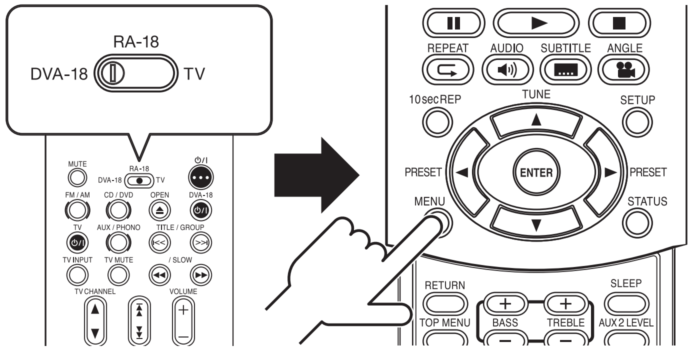
⏸キーを押すと一時停止、解除するには ▶キーを押します

●スロー再生中には音が出ません

メニューから選ぶ ❶

DVD ビデオ | DVD VR | CD | MP3 WMA | JPEG | ASF | MPEG1 MPEG2

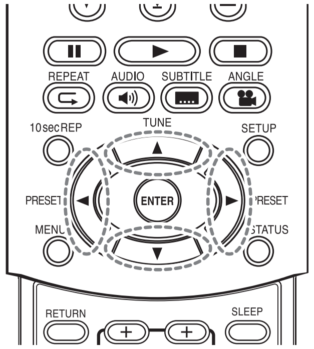
再生中または一時停止中



ディスクのメニュー画面が表示される。

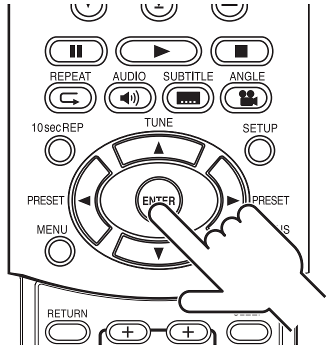
※メニュー画面が収録されていないディスクでは操作できません。

再生するところを選ぶ



※ディスクによっては数字キーを使って選ぶことができます。

決定



※ディスクによってはENTERキーを押さなくても再生が始まります。

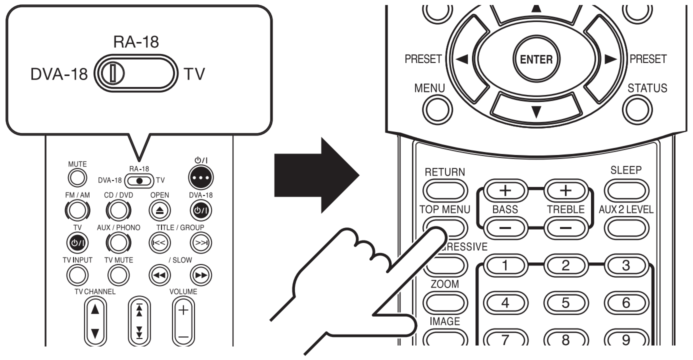
メニューから選ぶ ❷

DVD ビデオ | DVD VR | CD | MP3 WMA | JPEG | ASF | MPEG1 MPEG2

●オリジナルプログラムから選ぶ場合

♪：選んだタイトルから連続して再生します。

再生中または一時停止中

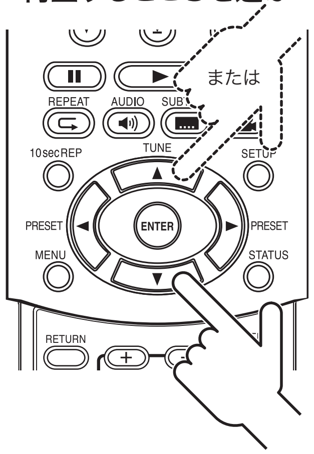


オリジナルプログラム

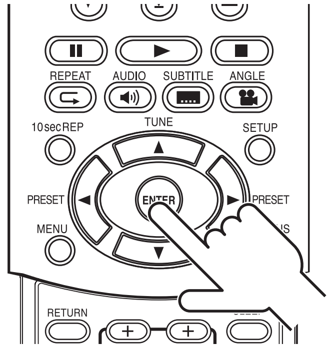
No	Date	Ch	Time	Title
1	04/12/03	L 1	12:15	La La La
2	04/12/09	L 1	23:05	The last year
3	04/12/13	L 1	08:17	free flyer
4	04/12/20	L 1	07:47	BOOM!
5	04/12/25	L 1	19:38	Mr. Lawrence
6	04/12/28	L 1	14:20	Satisly U

記録された日付　タイトル名
タイトルの記録開始時間
チャンネル情報

再生するところを選ぶ



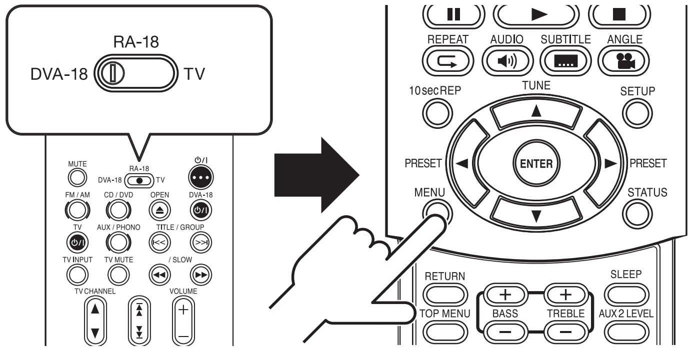
決定



●プレイリストから選ぶ場合

♪：選んだタイトルのみを再生します。

再生中または一時停止中

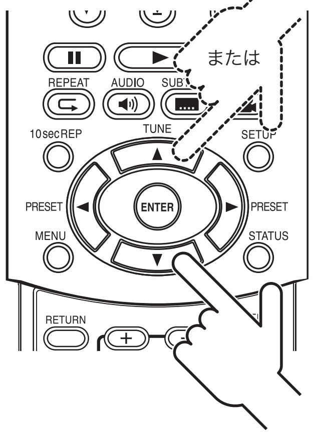


プレイリスト

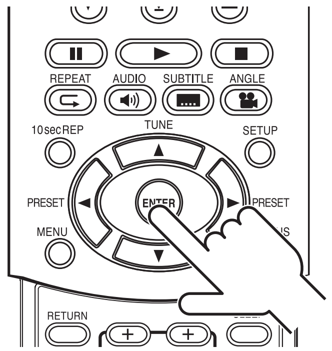
No	Date	Chap	Length	Title
1	04/12/03	2	0:23:24	Fair Game
2	04/12/15	4	1:04:39	CDJ
3	04/12/24	13	0:41:26	Seacert Garden
4	04/12/27	7	0:09:08	S.Walker

記録された日付　タイトルの総再生時間
タイトルに含まれているチャプター数

再生するところを選ぶ



決定

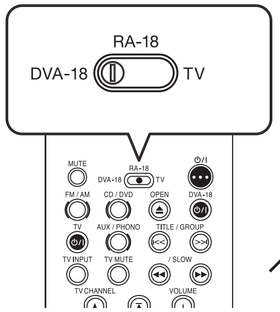


お好みの順番で再生する（プログラム再生）

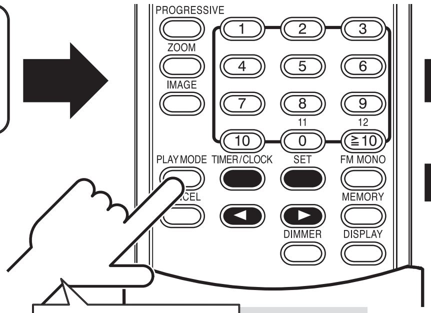
DVD ビデオ　DVD VR　CD　MP3 WMA　JPEG　ASF　MPEG1 MPEG2

最大99のチャプター／トラックを好みの順番でプログラムできます。
同じチャプター／トラックを何度もプログラムできます。

停止中



「PROGRAM」を選ぶ



押す度にモードが
切り換わる

例：CDのとき…トラック

DVA-18表示部

CD　PROGRAM

テレビ画面

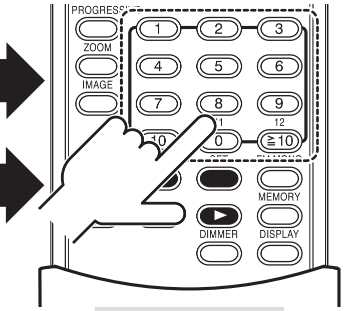
プログラム

No	Group/Title	Track/Chapter
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		

CDのとき

DVDビデオ／MP3／WMAのとき

チャプター／トラック番号を入力



数字キーの使い方
（55ページ参照）。

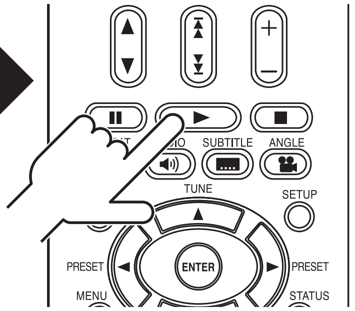
例：3を入力

CD　3 PRGM. 1

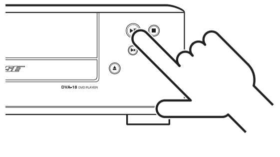
プログラム

No	Group/Title	Track/Chapter
1		3
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		

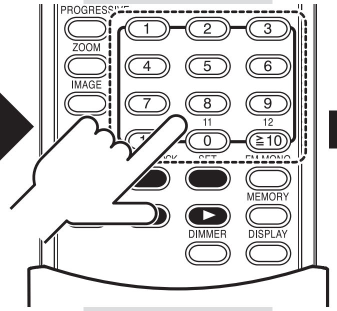
プログラム再生



本体では



タイトル／グループ番号を入力



数字キーの使い方
（55ページ参照）。

例：DVDビデオのとき…タイトル→チャプター
　　MP3／WMAのとき…グループ→トラック

DVA-18表示部

DVD　PROGRAM

テレビ画面

プログラム

No	Group/Title	Track/Chapter
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		

例：1を入力

1 -- PRGM. 1

プログラム

No	Group/Title	Track/Chapter
1	1	
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		

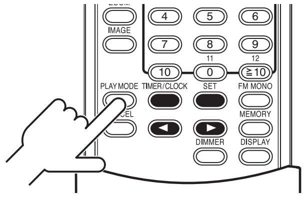
例：3を入力

1　3 PRGM. 1

プログラム

No	Group/Title	Track/Chapter
1	1	3
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		

プログラム再生の解除

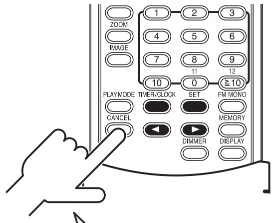


表示部の「PRGM」が
消えるまで押す。

プログラム内容の消去

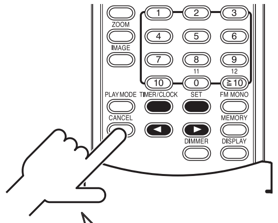
プログラム中

すべて消去



表示部に「ALL CLEAR!」
がでるまで押し続ける

一つずつ消去



トンと押す

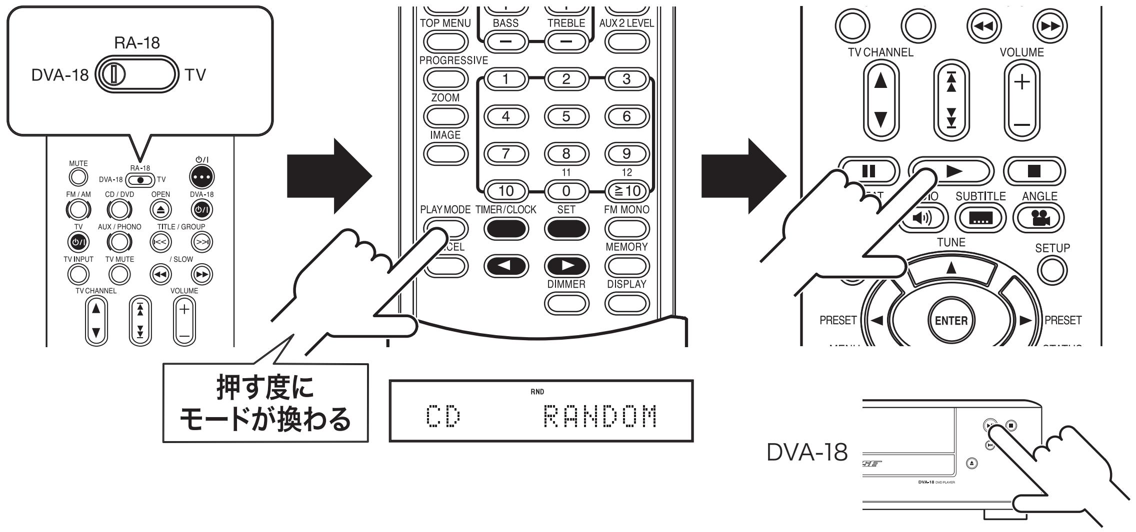
●DVDビデオ、MP3、WMAディスクの場合、グループ／タイトル選択後、トラック／チャプター番号を入力するかわりにENTERボタンを押すと「ALL」と表示され、そのグループ／タイトルに含まれるすべてのトラック／チャプターがプログラムされます。

ランダム再生

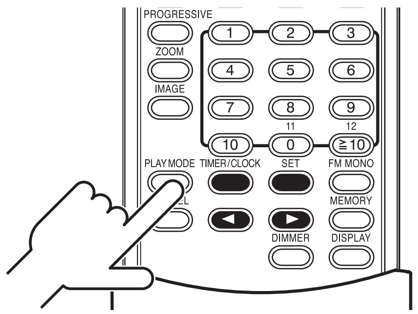
DVD ビデオ　DVD VR　CD　MP3 WMA　JPEG　ASF　MPEG1 MPEG2

停止中

「RANDOM」を選ぶ　　再生



ランダム再生の解除



・停止中表示部の「RND」が消えるまで押す。
・ディスクトレーを開ける

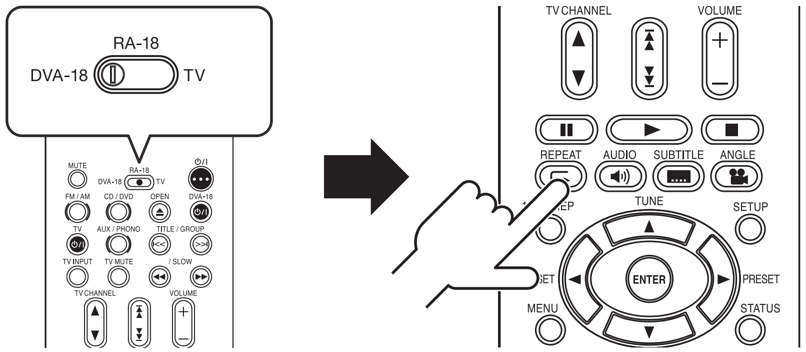
●DVDビデオのとき、ディスクによってはランダム再生が使えないことがあります。

リピート再生

DVD ビデオ　DVD VR　CD　MP3 WMA　JPEG　ASF　MPEG1 MPEG2

再生中

押す度にリピートの種類がかわる



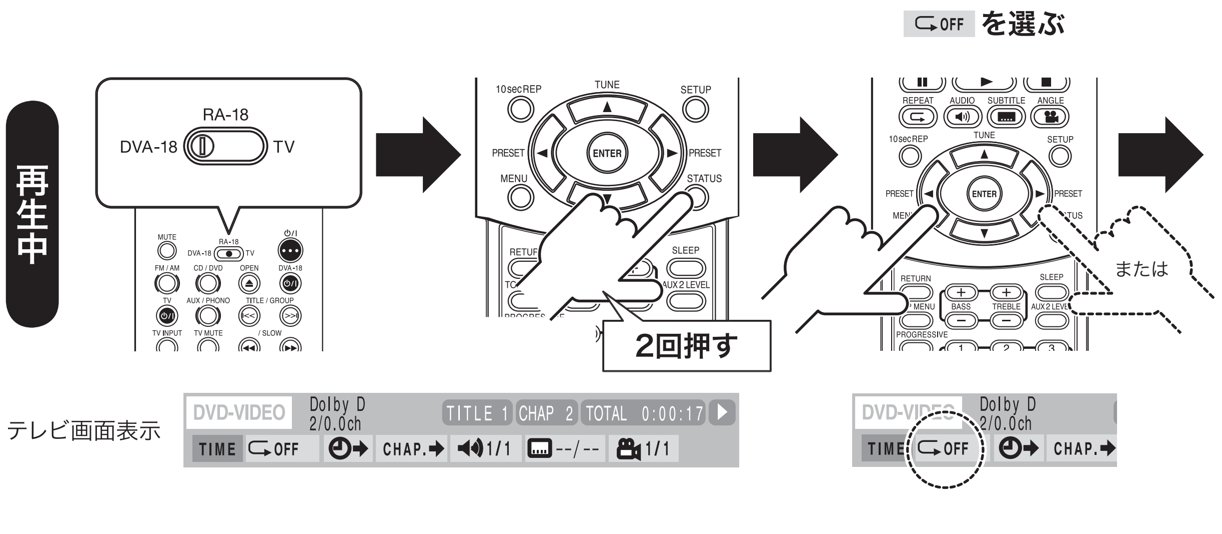
●メニューバーで操作することもできます。
●DVDビデオ、またはDVD VRのときに、ソースをFM／AMまたはAUXに切り換えると、リピート再生は解除されます。
●再生できないファイルがあるときは、リピートモードは自動で解除されます。

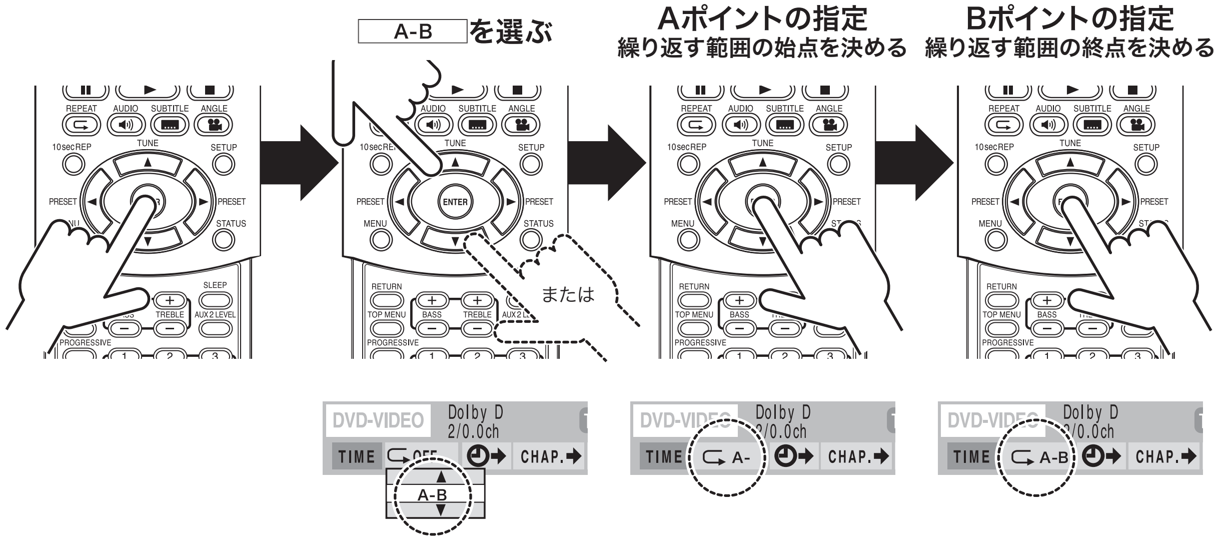
テレビ画面の表示	DVA-18の表示部	動作
TITLE	REPEAT TITLE	現在のタイトルをリピート
ALL または REPEAT ALL	REPEAT ALL	ディスク全体をリピート　※1
GROUP ※2 または REPEAT GROUP	REPEAT GROUP	現在のグループをリピート　※3
CHAP	REPEAT CHAP	現在のチャプターをリピート　※4
TRACK または REPEAT TRACK	REPEAT TRACK	現在のトラックをリピート　※4
OFF または表示なし	REPEAT OFF	リピート解除　※4

※1：プログラム再生中はプログラム全体をリピートします。
※2：DVD VRのオリジナルプログラム再生中は「PG」が、プレイリスト再生中は「PL」が表示されます。
※3：DVD VRのときは、現在のオリジナルプログラムまたはプレイリストをリピートします。
※4：プログラム再生中およびランダム再生中は「STEP」と表示されます。

指定した範囲を繰り返し再生する（A-Bリピート）

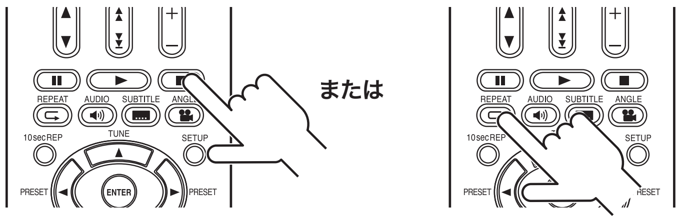
DVD ビデオ　DVD VR　CD　MP3 WMA　JPEG　ASF　MPEG1 MPEG2





●タイトルやトラックをまたがるA-Bリピートはできません。
●プログラム再生中、ランダム再生中、リピート再生中は、A-Bリピートはできません。
●DVDビデオのとき、ディスクによってはA-Bリピートが使えないことがあります。

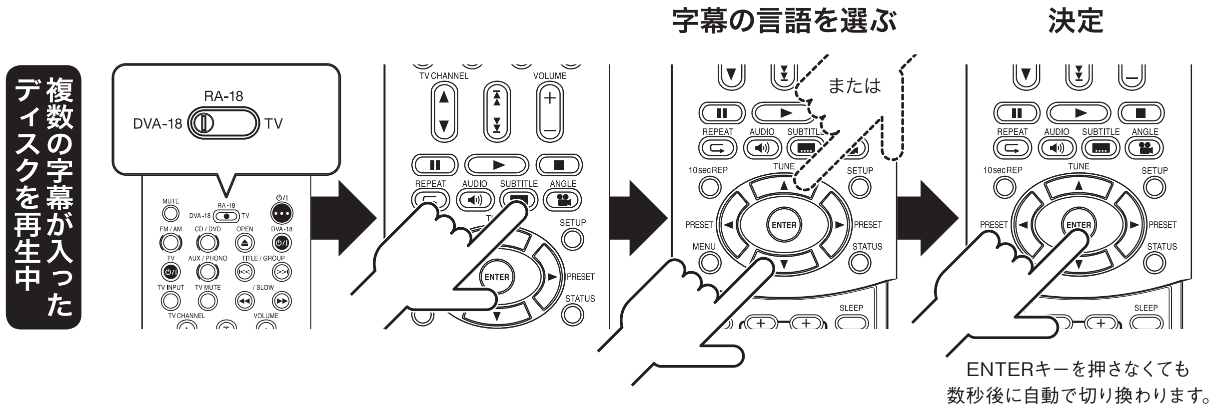
解除するには



OFF を選んでENTERキーを押しても 解除できます。

字幕を切り換える

DVD ビデオ　DVD VR　CD　MP3 WMA　JPEG　ASF　MPEG1 MPEG2

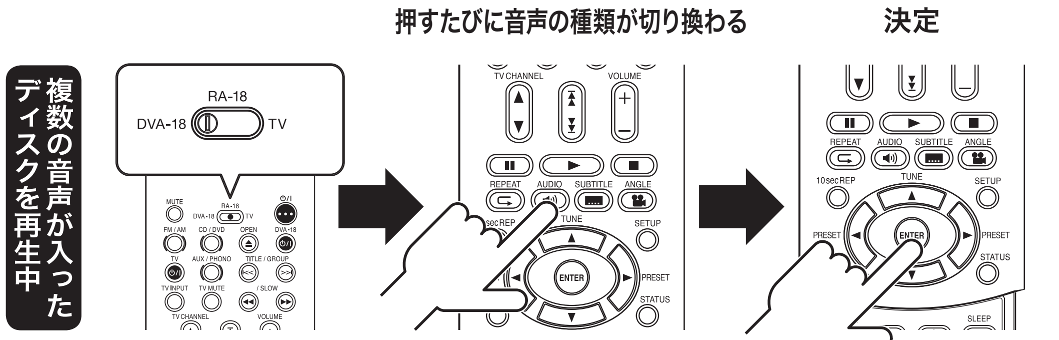


ENTERキーを押さなくても
数秒後に自動で切り換わります。

●メニューバーで操作することもできます。
●「AA」などの言語コードについては、「言語コード一覧」（65ページ参照）をご覧ください。

音声を切り換える

DVD ビデオ　DVD VR　CD　MP3 WMA　JPEG　ASF　MPEG1 MPEG2



ENTERキーを押さなくても
数秒後に自動で切り換わります。

●メニューバーで操作することもできます。
●「AA」などの言語コードについては、「言語コード一覧」（65ページ参照）をご覧ください。
●DVD VRのときに表示される「ST」「L」「R」はそれぞれ「ステレオ」「左の音声」「右の音声」の意味です。

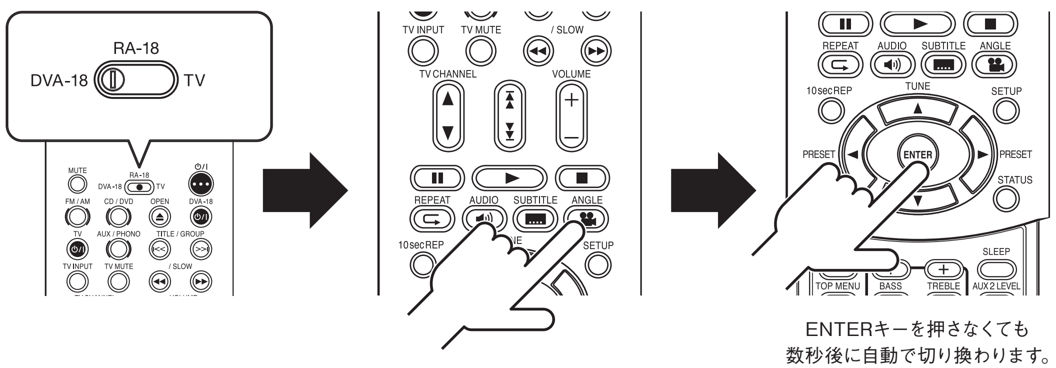
アングル(角度)を切り換える

DVD ビデオ　DVD VR　CD　MP3 WMA　JPEG　ASF　MPEG 1 MPEG 2

複数のアングルが入った場面を再生中

押すたびにアングルが切り換わる

選ぶ



ENTERキーを押さなくても
数秒後に自動で切り換わります。

●メニューバーで操作することもできます。

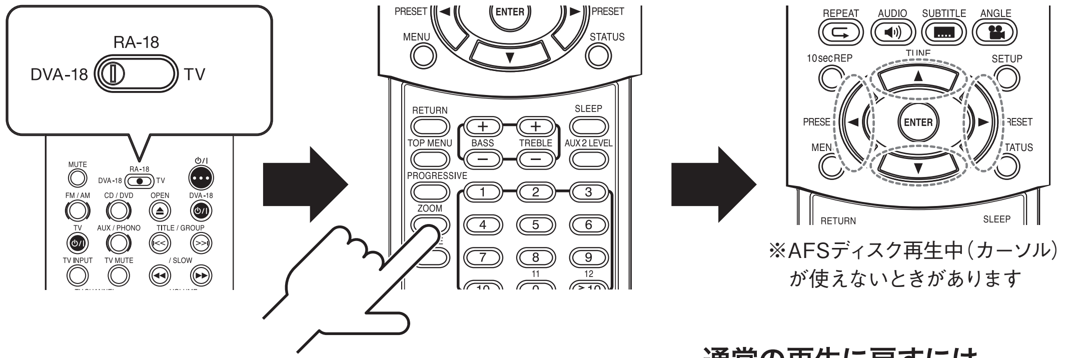
画像を拡大する(ズーム)

DVD ビデオ　DVD VR　CD　MP3 WMA　JPEG　ASF　MPEG 1 MPEG 2

再生中・一時停止中

押すたびに倍率が切り換わる

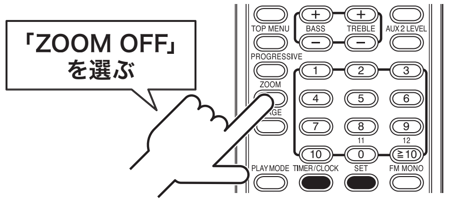
見たい部分を選ぶ



※AFSディスク再生中(カーソル)
が使えないときがあります

●JPEGディスクをスライドショー再生している場合は操作できません

通常の再生に戻すには



IMAGEモード (画質の調整) について

DVD ビデオ　DVD VR　CD　MP3 WMA　JPEG　ASF　MPEG 1 MPEG 2

IMAGEモードについて

ノーマル：標準的な設定です(調整はできません)。

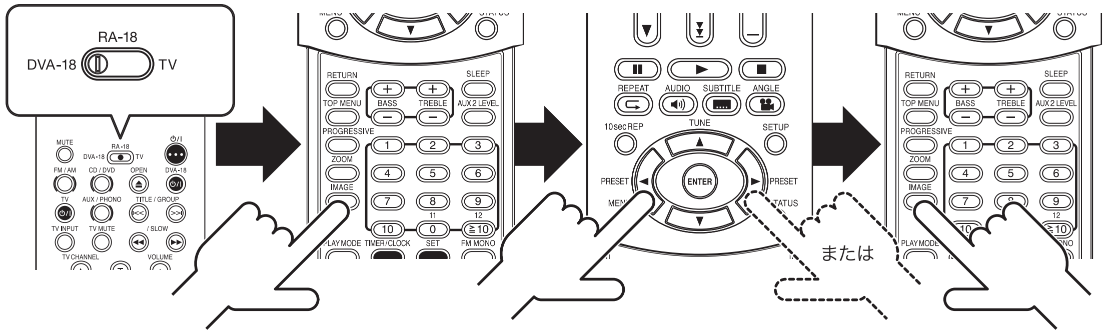
シネマ：照明を落とした部屋で映画ソフトを鑑賞するのにむいてます(調整はできません)。

ユーザ1／ユーザ2：お好みの画質に調整ができます。

●モードの選び方

再生中・一時停止中

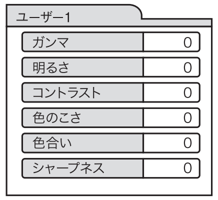
❶　❷　❸ モードを選ぶ　❹



●ユーザー１／ユーザー２モードを選んだ場合の調整のしかた

左下の「モードの選び方」で手順❶〜❸を行い、手順❸でユーザー１／ユーザー２モードを選びます。▲、▼キーで調整したい項目を選び、ENTERキーで決定、▲、▼キーで数値を変更し、ENTERキーで決定します。全ての設定が終わったらIMAGEキーを押して終了します。

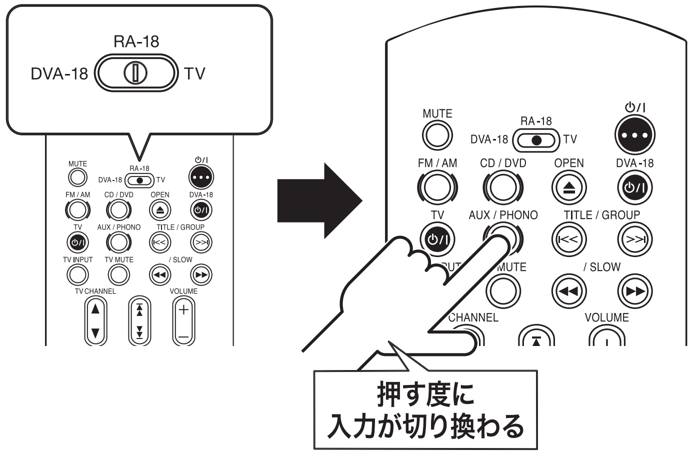
例：テレビ画面



- **ガンマ**　画面の暗い部分と明るい部分の明るさを変えずに、中間の明るさを調節します。(設定範囲：−3〜+3)
- **明るさ**　画面の明るさを調節します。(設定範囲：−8〜+8)
- **コントラスト**　画面のコントラストを調節します。(設定範囲：−7〜+7)
- **色のこさ**　画面の色の濃さを調節します。(設定範囲：−7〜+7)
- **色合い**　画面の色合いを調節します。(設定範囲：−7〜+7)
- **シャープネス**　画面のシャープさを調節します。(設定範囲：−8〜+8)

●操作の途中で数秒間何も操作をしないと、それまでの変更が自動で設定されます。

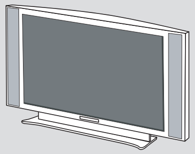
その他の機器を聴く



再生

AUX 1

AUX 1

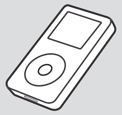


TV

AUX 1入力端子にテレビの音声入力を接続している場合は"AUX 1"を選ぶとTVの音声を聞くことができます（接続について8～9ページ参照）。AUX 1入力端子にTV以外の機器を接続している場合はその機器の音声が再生されます。

AUX 2※

AUX 2

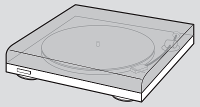


ポータブルオーディオプレーヤー

RA-18前面、AUX 2 IN入力端子に接続された機器の音声が再生されます。

PHONO

PHONO



レコードプレーヤー※

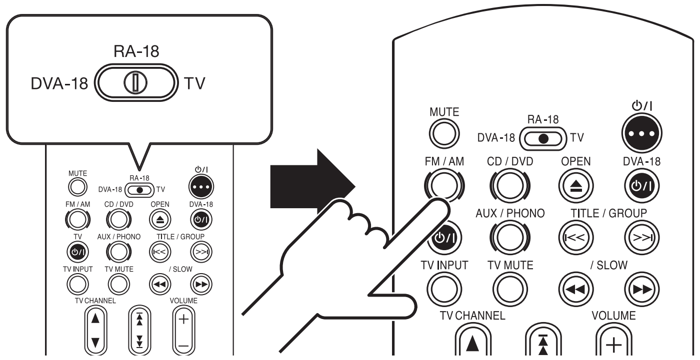
PHONO入力端子に接続されたレコードプレーヤーの音声が再生されます。

※接続できるレコードプレーヤーはMM型です。

※AUX2入力端子は、入力レベル(High/Low)を切り換えることができます。
切り換えるには、リモコンのAUX2 LEVEL キーを押します(55ページ参照)。

ラジオを聴く

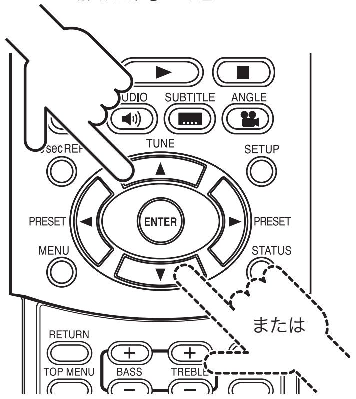
「FM」または「AM」を選ぶ



本体(RA-18)では

FM30　83.00

放送局を選ぶ

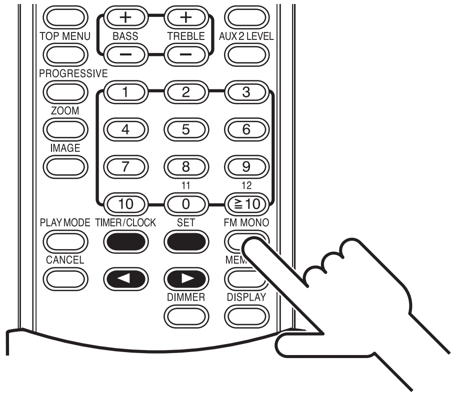


♪：2秒以上押し続けると
オートスキャンになります。

本体（RA-18)では
TUNE ▼、▲キー

FMの電波が弱いあるいは雑音が多い場合

FMステレオ放送が雑音で聴きにくいとき、FM MONOキーを押し、音声をモノラルにすると聴きやすくなることがあります。もう一度FM MONOキーを押すとステレオ受信に戻ります。



●本機は、テレビ1ch(95.75MHz)、2ch(101.75MHz)、3ch(107.75MHz)、の音声を受信することができます。

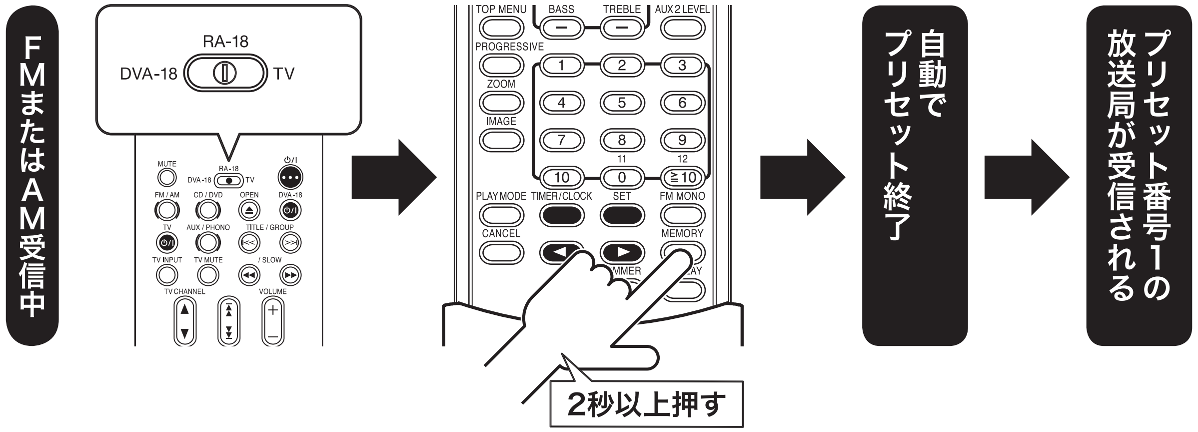
●本機は、AMステレオ放送には対応していません。

放送局の登録と呼び出し　放送局を登録させておくと次から簡単に呼び出すことができます。

放送局を記憶させる(プリセット)

FMを最大30局、AMを最大15局まで、それぞれ登録させることができます。

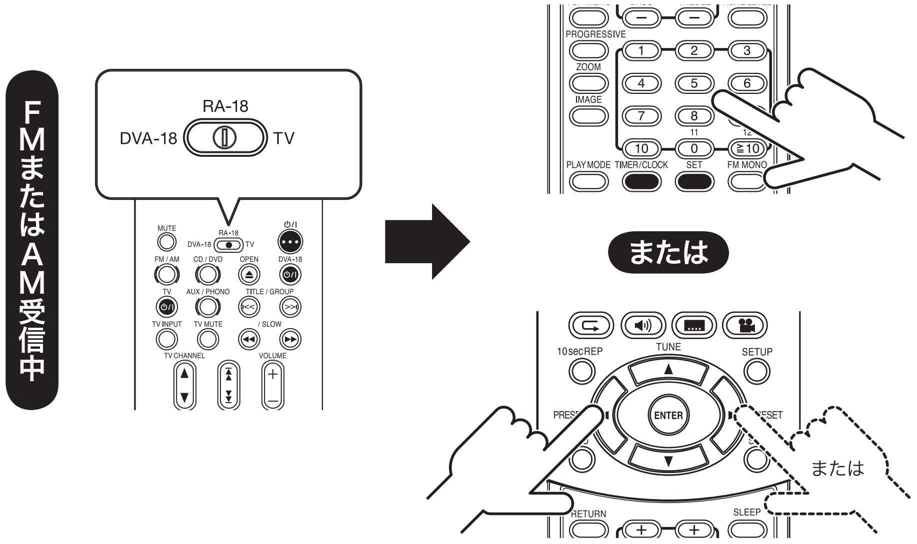
●オート(自動)プリセット



●受信できる放送局が自動で登録され、その曲のプリセット番号と受信周波数が表示されます。
●受信できるすべての放送局が登録されるか、プリセットできる最大数まで、登録されると、自動で終了します。
●雑音の多い放送局も登録されることがあります。
●前に登録されていた放送局があっても、新しく登録されていた放送局が上書きされます。

放送局の呼び出し方

プリセット番号を押す

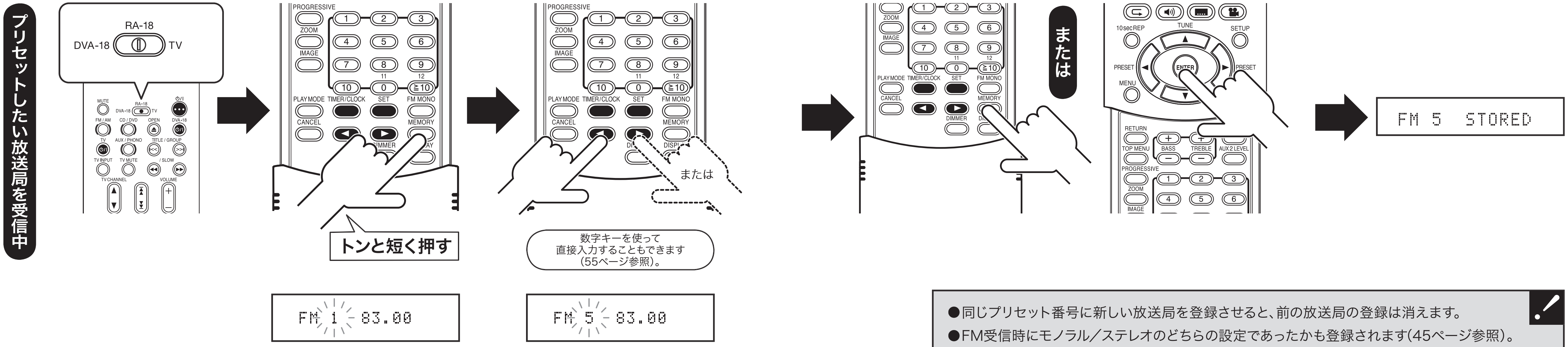


◀または▶キーを押して選ぶこともできます。

●マニュアル(手動)プリセット

プリセットしたい番号を選ぶ

決定

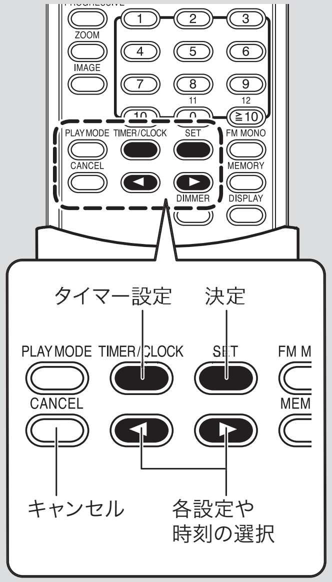


5秒間点滅　　点滅中

●同じプリセット番号に新しい放送局を登録させると、前の放送局の登録は消えます。
●FM受信時にモノラル/ステレオのどちらの設定であったかも登録されます(45ページ参照)。
●記憶させた放送局の周波数は、コンセントからプラグを抜いても3日間保持しています。

タイマーの使い方　あらかじめ時計を設定しておいてください（16ページ）。

使用するキー



・ セットしたタイマーの内容を確認するときは、手順❸のあとSETキーを繰り返し押します。

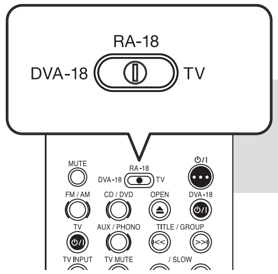
・ 手順❹で設定した開始時刻の少なくとも1分前には設定を完了してください（1分未満の場合はタイマー動作しません）。

・ 再生が始まると、音量が徐々に大きくなり設定した音量になります。

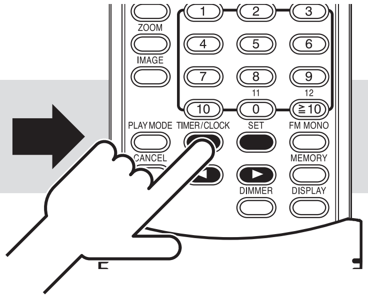
・ プログラム再生／ランダム再生／リピート再生とTIMER　PLAYの組み合わせで様々な再生を設定することができます。

RA-18の電源コードを抜いたり、停電があったときは、再生タイマーの設定が消えることがあります。

❶



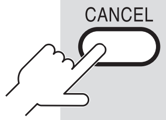
❷



TIMER ON? SET

交互に表示される

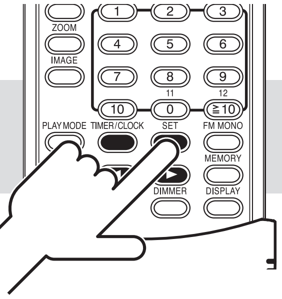
OFF? CANCEL



タイマー解除

TIMER OFF

❸



開始時刻

ON　12:34

終了時刻

OFF　13:44

❹

◀ または ▶ キーで時刻を設定

SET キーで決定

❺

◀ または ▶ キーで「WEEKLY」または「ONCE」を選んで SET キーで決定

WEEKLY… 毎週または毎日動作

WEEKLY

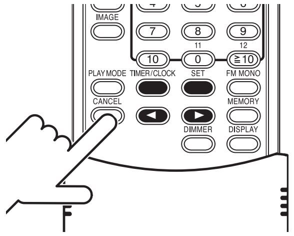
SUN.（日曜日）↔ MON.（月曜日）↔ TUE.（火曜日）↔ WED.（水曜日）↔ THU.（木曜日）↔ FRI.（金曜日）↔ SAT.（土曜日）↔ MON.→FRI.（月～金曜日）↔ MON.→SAT.（月～土曜日）↔ EVERYDAY（毎日）↔ SUN.（日曜日）

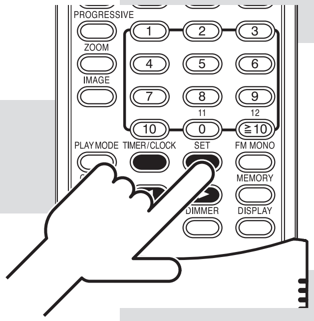
ONCE… 1回だけ動作

ONCE

SUN.（日曜日）↔ MON.（月曜日）↔ TUE.（火曜日）↔ WED.（水曜日）↔ THU.（木曜日）↔ FRI.（金曜日）↔ SAT.（土曜日）↔ SUN.（日曜日）

前の手順に戻る





❻ 再生したいソースを選ぶ

CD/DVD

◀ または ▶ キーでソースを設定

SET キーで決定

※TUNER時は放送局を選択(47ページ参照)。

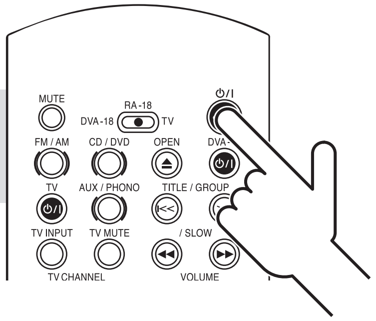
❼ 音量を決める

VOLUME 13

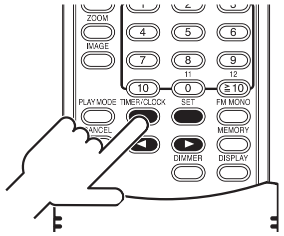
◀ または ▶ キーで音量を設定

SET キーで決定

❽ 電源ON時に設定の場合のみ電源を切る



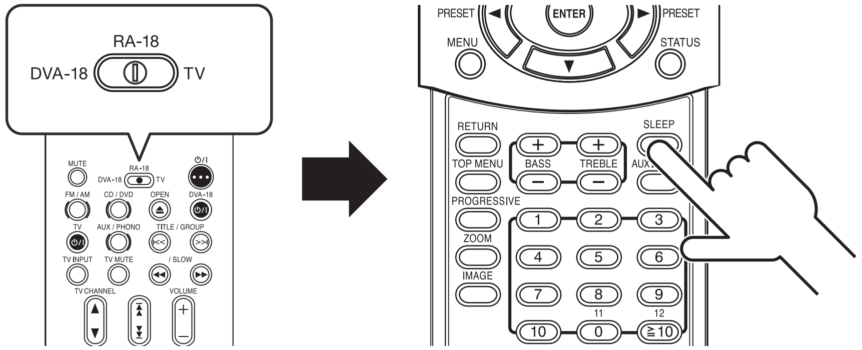
途中でやめるには



スリープタイマー

スリープタイマーをセットするとCDやラジオを聴きながらおやすみになっても、
自動的に電源が切れて演奏を終了させることができます。

押すたびに表示部が切り換わる



表示部の切り換わり

SLEEP 10min …10分後に電源が切れます。
↓
SLEEP 20min …20分後に電源が切れます。
↓
SLEEP 30min …30分後に電源が切れます。
↓
SLEEP 60min …60分後に電源が切れます。
↓
SLEEP 90min …90分後に電源が切れます。
↓
SLEEP 120min …120分後に電源が切れます。
↓
SLEEP 150min …150分後に電源が切れます。
↓
SLEEP OFF …スリープタイマーを解除します。

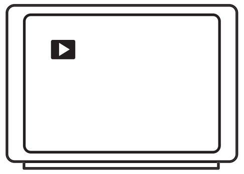
●スリープタイマーをセットすると自動で表示窓が暗くなります。

テレビの表示について

電源をいれたときテレビに表示される画面

DVDプレーヤーの使用状況に応じて下記のようなメッセージが表示されます。

NOW READING	ディスの読み取り中です。しばらくお待ちください。
リージョンコードエラー!	リージョン番号が異なるため再生できません (62ページ)。
NO DISC	ディスクが入っていません。
OPEN	ディスクトレーを開いています。
CLOSE	ディスクトレーを閉じています。
このディスクは再生できません	再生できないディスクです。



テレビ画面に表示されるマーク (オンスクリーンガイド)

工場出荷時の設定は、オンスクリーンガイドが「オン(ガイド表示あり)」になっています。「オフ(ガイド表示しない)」に設定することもできます(23ページ参照)。

再生	複数のアングルあり (42ページ参照)
一時停止	複数の音声あり (41ページ参照)
早戻し/早送り	複数の字幕あり (40ページ参照)
スローモーション再生 (逆方向/順方向)	そのディスクでは、行った操作が禁止されています。

リモコン

MUTEキー
音声を一時的に止めることができます。もう一度このキーを押すと、ミュートは解除されます。また、電源を入れなおすと元の音量にもどります。

CD／DVDキー
入力ソースをCDまたはDVDに切り換えて、挿入されているディスクを再生します。

FM／AMキー
入力ソースをラジオに切り換えます。キーを押す度に、FMとAMを切り換えます。

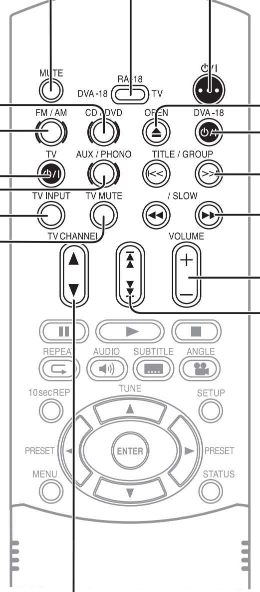
TV電源キー
テレビの電源をON／OFFするキーです。リモコンモード切換スイッチの位置に関係なく使えます。

AUX／PHONOキー
AUXに接続してある機器または、PHONOに接続してあるレコードプレーヤーに切り換えます。キーを押す度に、AUX1 → AUX2 → PHONO → AUX1…と切り換わります。

TV INPUTボタン
テレビの入力を切り換えます。リモコンモード切換スイッチの位置に関係なく使えます。

TV MUTEキー
テレビの音声を一時的に止めることができます。リモコンモード切換スイッチの位置に関係なく使えます。

リモコンモード切換スイッチ
それぞれの機器の設定などをするときに、リモコンのモードを切換えます。また、テレビのチャンネルを数字キーで直接選択する場合は、リモコンのモードをTVに切換えます。



TV CHANNELキー
テレビのチャンネルを切り換えます。リモコンモード切換スイッチの位置に関係なく使えます。

※あらかじめテレビメーカーコードの設定が必要です(15ページ参照)。

電源キー
電源のON、スタンバイを切り換えます。

⏏ OPENキー
ディスクトレーの開閉を行います。

DVA-18電源キー
DVA-18の電源をON／OFFするキーです。リモコンモードスイッチの位置に関係なく使えます。

TITLE／GROUPキー
タイトルやグループを選ぶときに押します。

◀◀、▶▶／SLOWキー
リモコンモード切換えスイッチがDVA-18のとき

- キーを押すたびに、早送り、早戻しの速度が変わります。(PLAY)ボタンを押すと通常の速度にもどります。
- 動画再生をPause（一時停止）中は、キーを押すたびにスロー再生の速度が変わります。スロー再生中にPause（一時停止）を押すと一時停止します。(PLAY)キーを押すと通常の速度にもどります。

VOLUME(音量)キー
音量の上げ下げを行います。

選曲／早送り／早戻しキー
押すたびに、前後のチャプター／トラック／ファイルの頭に移ります。再生中のチャプター／トラックの先頭に戻るときは、⏮を1回押します（JPEGディスク除く）。MP3／WMA／JPEG／AFS／再生中に⏭を押すと次のファイルが、⏮を押すとひとつ前のファイルが再生されます。また、このキーを押し続けている間だけ、早送り／早戻しします。

🔊 AUDIO(音声切換)キー
DVDビデオの音声言語を切り換えます。

REPEATキー
音楽や動画のリピート再生を行います。

10secREP(10秒リプレイ)キー
DVDビデオ再生中に、このキーを押すと約10秒前にもどって再生し直します。

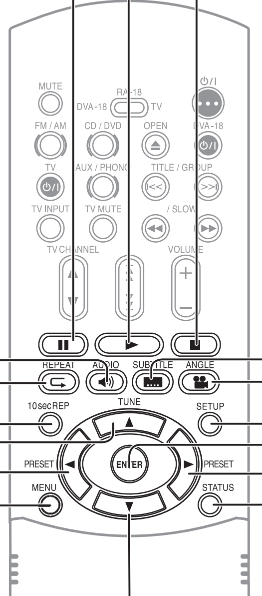
TUNE ▲カーソルキー
○**DVDビデオ再生中**…メニュー画面でカーソルを上に移動させるときに押します。
○**システム設定画面**…選択内容を切り換えるときに押します。
○**ZOOM時**…上の方に拡大したい部分があるときに押します。
○**ラジオ時**…マニュアルチューニングになります。このキーを押し続けるとオートスキャンチューニングになります。
○**MP3時**…ファイルまたはフォルダーを選択するときに押します。

PRESET ◀カーソルキー
○**DVDビデオ再生中**…メニュー画面でカーソルを左に移動させるときに押します。
○**システム設定画面**…選択内容を切り換えるときに押します。
○**STATUS BAR**…選択項目を左に移動するときに押します。
○**ZOOM時**…左の方に拡大したい部分があるときに押します。
○**タイマーセット時**…一つもどします。
○**時刻合わせ**…一つもどします。
○**ラジオ時**…このキーを押す度にプリセットチャンネルが一つずつ戻ります。

MENU(メニュー)キー
ディスクのメニュー画面が表示されます。

▶ (PLAY)キー
ディスクの再生を行います。

❚❚(ポーズ)キー
DVDビデオ、CD再生中に押すと、再生を一時停止します。(PLAY)キーを押すと再生を開始します。DVDビデオでは押す度にコマ送りを行います。



TUNE ▼カーソルキー
○**DVDビデオ再生中**…メニュー画面でカーソルを下に移動させるときに押します。
○**システム設定画面**…選択項目を切り換えるときに押します。
○**ZOOM時**…下の方に拡大したい部分があるときに押します。
○**ラジオ時**…マニュアルチューニングになります。このキーを押し続けるとオートスキャンチューニングになります。
○**MP3時**…ファイルまたはフォルダーを選択するときに押します。

■ STOP(ストップ)キー
○音楽CDディスクのとき再生を停止します。
○動画再生時…PLAY、PAUSE中に押すと、RESUME（リジューム）状態で停止します。もう一度押すと完全に停止します。

SUBTITLE(字幕切換)キー
字幕が収録されたDVDビデオを再生中、字幕言語の切り換えや字幕表示のON／OFFを行います。

ANGLE(アングル切換)キー
マルチアングルで収録されたDVDビデオを再生中、アングルを切り換えるときに押します。

SETUP(セットアップ)キー
停止中に押すとシステム設定画面が表示されます。

ENTER(エンター)キー
各設定を決定するときに押します。

PRESET ▶カーソルキー
○**DVDビデオ再生中**…メニュー画面でカーソルを右に移動させるときに押します。
○**システム設定画面**…選択項目を切り換えるときに押します。
○**STATUS BAR**…選択内容を右に移動するときに押します。
○**ZOOM時**…右の方に拡大したい部分があるときに押します。
○**タイマーセット時**…一つ進めます。
○**時刻合わせ**…一つ進めます。
○**ラジオ時**…このキーを押すたびにプリセットチャンネルが一つずつ進みます。

STATUS(ステータス)ボタン
テレビ画面にトラックNO、チャプターNO、経過時間等を表示します。もう一度押すとさらに詳細情報が表示されます。

リモコン

BASS+／−キー
低域部分を調整するときに押します。

RETURN（リターン）キー
システム設定画面、メニューバーで設定中にこのキーを押すと元に戻ります。

TOP MENUキー
ディスクのトップメニュー画面が表示されます。ディスクによっては表示されないものもあります。

PROGRESSIVEキー
お使いのテレビに合わせて、映像信号方式を設定するときに押します。

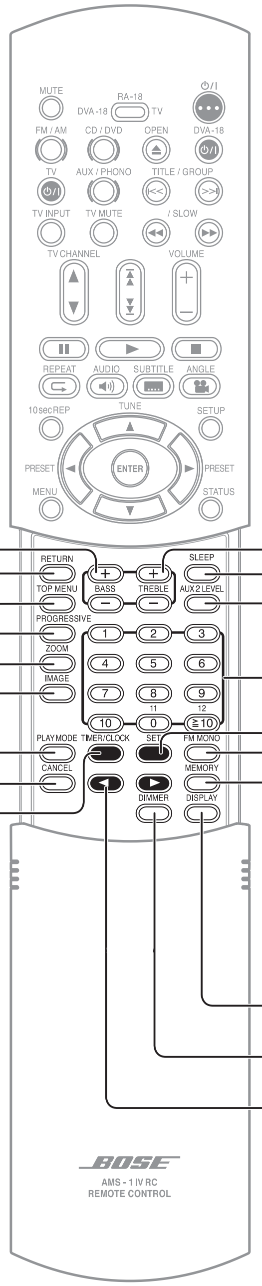
ZOOMキー
画面を拡大して見たいときに押します。カーソルキーで拡大したい部分を選んでください。

IMAGEキー
映像ソースに適した設定を選びます。

PLAY MODEキー
DVD／CDのときにランダム再生、プログラム再生、通常再生を切り換えます。

CANCELキー
時刻、タイマーの設定でこのキーを押すと、一つ前の手順に戻ります。プログラム再生時にはプログラムの内容を消去するときに使用します。

TIMER／CLOCKキー
タイマーの設定や時計合わせのときに使います。このキーと◀／▶キー、◀／▶カーソルキー、数字キーを使ってタイマーや時刻を合わせてSETキーで設定します。



TREBLE+／−キー
高域部分を調整するときに押します。

SLEEPキー
スリープタイマーのセットができます。

AUX2 LEVELキー
AUX2のレベルの切り換えをします。

数字キーの使い方

例

5：(5)

15：(≧10) ➡ (1) ➡ (5)

135：(≧10) ➡ (≧10) ➡ (1) ➡ (3) ➡ (5)

数字キー
○**CD時**…ダイレクト選曲、プログラム再生を行うときに押します。
○**DVDビデオ時**…ステータスバー表示時にこのキーを使って、チャプター選択、タイトル選択、タイムサーチを行います。
○**ラジオ時**…プリセットチャンネルを呼び出すときに押します。
○テレビのメーカーコード入力、時計設定、タイマー設定のときに使用します。

SETキー
時刻やタイマーの設定を決定するときに押します。

FM MONOキー
FMステレオ放送の音声をモノラルにするときに、このキーを押します。もう一度押すとステレオ放送に戻ります。

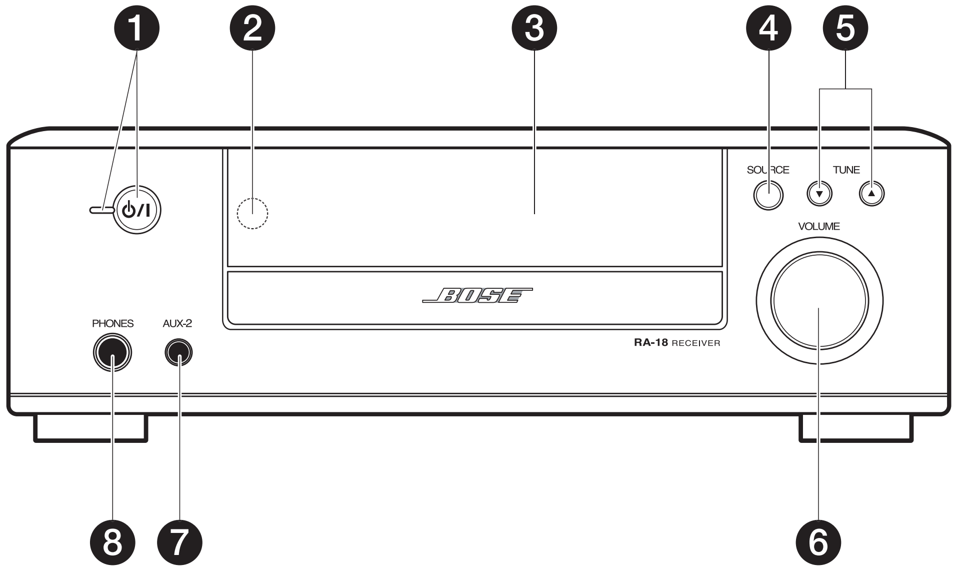
MEMORYキー
放送局のプリセット時に使用します。このキーを長押しすると、AUTO PRESETになります。

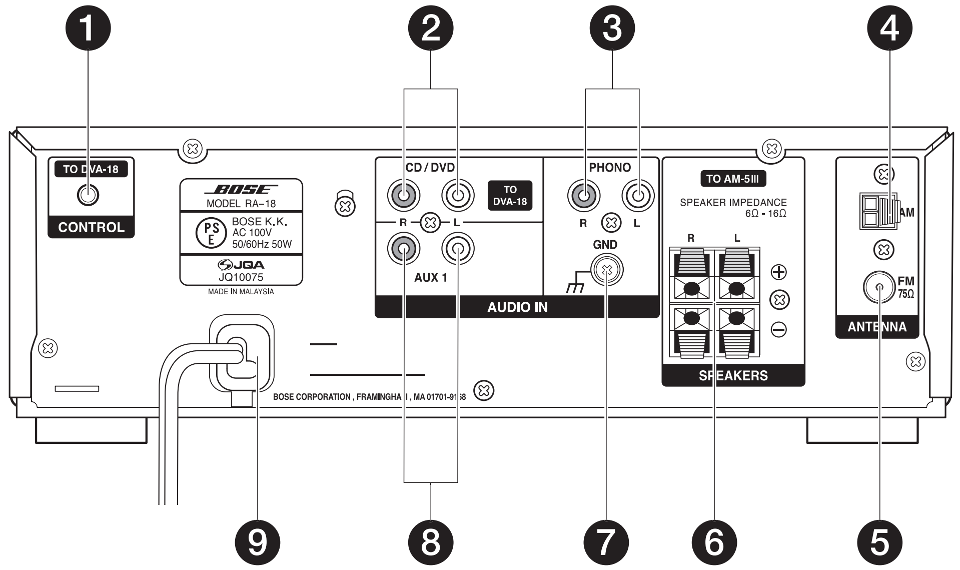
DISPLAYキー
表示部の内容を切り換えるときにリモコンモード切替スイッチと併用して使います。RA-18、DVA-18をそれぞれに設定できます。

DIMMERキー
表示部の明るさを設定するときにリモコンモード切替スイッチと併用して使います。RA-18、DVA-18をそれぞれに設定できます。

◀／▶キー
カーソルの◀／▶キーと同じ内容です。

ステレオレシーバー (RA-18)





❶ 電源スイッチとスタンバイインジケーター

このスイッチを押すと、文字表示部が点灯して電源が入り、緑のインジケーターが点灯します。もう一度押すと電源が切れて赤いインジケーターが点灯します。

> ⚠注意
> 電源スイッチをオフにしても、回路の一部には電流が流れ続けます（スタンバイインジケーターが点灯して電源が供給されていることを示します）。長期間ご使用にならないときは、安全のため本機の電源プラグを電源コンセントから抜いておいてください。

❷ 受光部

内部にリモートコントローラーから出された赤外線を受光する部分があります。リモートコントローラーの送信部をここに向けて操作してください。

❸ 表示部

いろいろな情報を表示するところです（60ページ参照）。

❹ SOURCE（ソース／音源）

本機で再生する音源を切り換えます。

❺ TUNE ▼／▲キー

周波数の上げ下げをするときに使います。このキーを長押し（2秒以上）すると、オートスキャンになります。

❻ VOLUME（ボリューム）つまみ

音量を調節します。

❼ AUX 2 IN

外部音声入力端子。ϕ3.5ステレオミニプラグを差し込んでください。

❽ PHONES（ヘッドホン）ジャック

ステレオヘッドホンで演奏を聴くときに、ヘッドホンの標準ヘッドホンプラグをこのジャックに差し込みます。

※ヘッドホンのプラグをジャックに差し込むと、スピーカーから音が出なくなります。

❶ SYSTEM CONTROL（システムコントロール）

DVA-18とシステムコントロールケーブルで接続します。

❷ CD／DVD音声入力端子

DVA-18からの音声信号を入力します。

❸ PHONO入力端子

レコードプレーヤー（MM型）以外は接続できません。

❹ AMアンテナ

AMアンテナを接続する端子です。

❺ FMアンテナ

FMアンテナを接続する端子です。

❻ スピーカー出力端子

スピーカーコードを接続する端子です。

❼ GND端子

レコードプレーヤーのGNDをここにつなぎます。

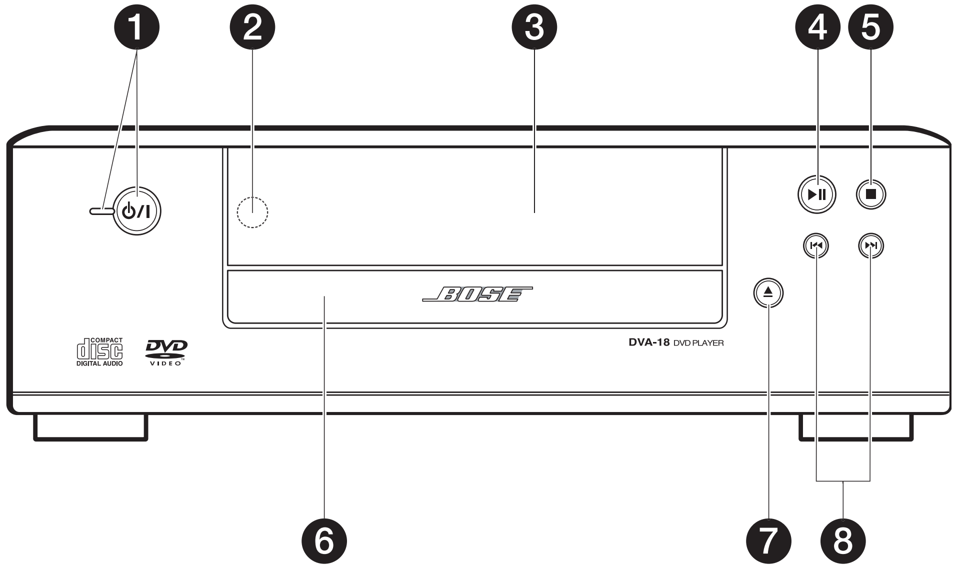
※一部のレコードプレーヤーにはGNDがないものがあります。必ずレコードプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

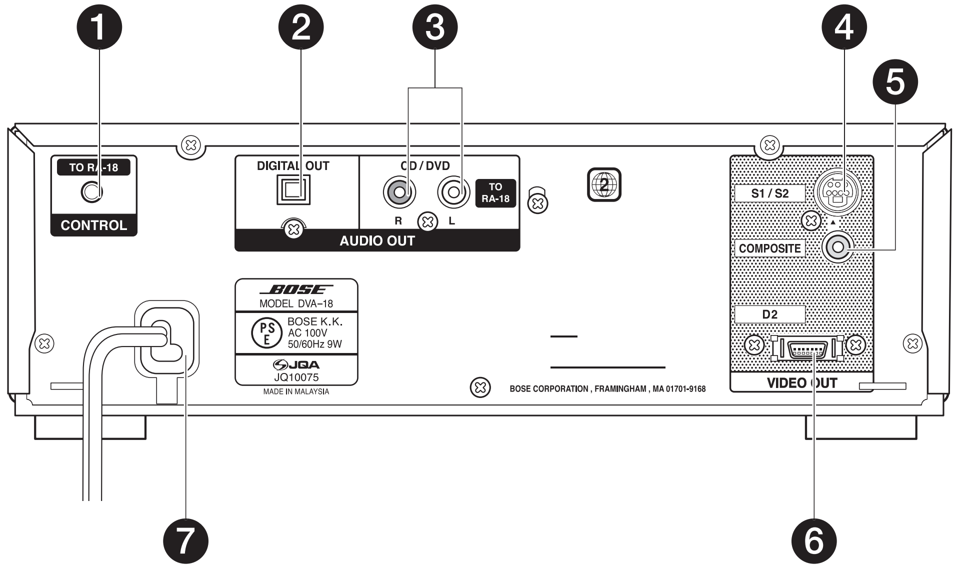
❽ 外部（AUX 1）音声入力端子

外部機器のの音声信号を入力します。

❾ 電源コード

商用電源100V 50Hz/60Hzに接続します。





❶電源スイッチとスタンバイインジケーター

このスイッチを押すと、文字表示部が点灯して電源が入り、緑のインジケーターが点灯します。もう一度押すと電源が切れて赤いインジケーターが点灯します。

> ⚠注意
> 電源スイッチをオフにしても、回路の一部には電流が流れ続けます（スタンバイインジケーターが点灯して電源が供給されていることを示します）。長期間ご使用にならないときは、安全のため本機の電源プラグを電源コンセントから抜いておいてください。

❷受光部

内部にリモートコントローラーから出された赤外線を受光する部分があります。リモートコントローラーの送信部をここに向けて操作してください。

❸表示部

いろいろな情報を表示するところです（61ページ参照）。

❹▶II（プレイ／ポーズ）キー

各ディスクを再生するときに押します。ディスクを再生中に押すと再生を一時停止します。もう一度押すと再び再生が始まります。

❺■（ストップ）キー

各ディスクの再生中にこのキーを押すと再生が中止されます。

❻ディスクトレー

CDまたはDVDなどのディスクをこのトレイに置きます。シングルCD（8cm）をアダプターなしでかけられます。

❼⏏（オープン）キー

ディスクトレーのイジェクトとロードを行います。

❽⏮ ⏭（スキップ）キー

押すたびに、前後のチャプター／トラック／ファイルの先頭に移ります。再生中のチャプター／トラックの先頭に戻るときは、⏮を1回押します（JPEGディスク除く）。MP3／WMA／JPEG／AFS／再生中に⏭を押すと次のファイルが、⏮を押すとひとつ前のファイルが再生されます。

❶SYSTEM CONTROL（システムコントロール）

RA-18とシステムコントロールケーブルで接続します。

❷DIGITAL OUT（光デジタル出力端子）

光デジタル信号を出力する端子です。市販の角型、EIAJ標準光デジタルケーブルを使ってこの端子に接続します。

❸CD/DVD音声出力端子

❹S1／S2

この出力端子と市販のSビデオケーブルでテレビと接続します。映像信号方式を「INTERLACE」（インターレース）に設定してください（「映像方式をの設定のしかた」9ページ参照）。

本機のS映像出力端子は、S1およびS2映像信号に対応しています。S映像信号にフルモード（縦長の映像）を自動判別するために識別信号を合わせた信号です。接続したテレビがS1またはS2映像信号対応機器のとき、この信号を検知すると自動的に画面サイズを変更します。

❺COMPOSITE

この出力端子と付属のビデオケーブルでテレビと接続します。映像信号方式を「INTERLACE」（インターレース）に設定してください（「映像方式をの設定のしかた」9ページ参照）。

❻D2

この出力端子と市販のD端子付ビデオケーブルでテレビと接続します。
お使いのテレビの端子に合わせて、映像信号方式を設定してください。

- D1端子のときは「INTERLACE」（インターレース）に設定してください（「映像方式をの設定のしかた」9ページ参照）。
- D2～D4端子のときは「PROGRESSIVE」（プログレッシブ）に設定してください（「映像方式をの設定のしかた」9ページ参照）。

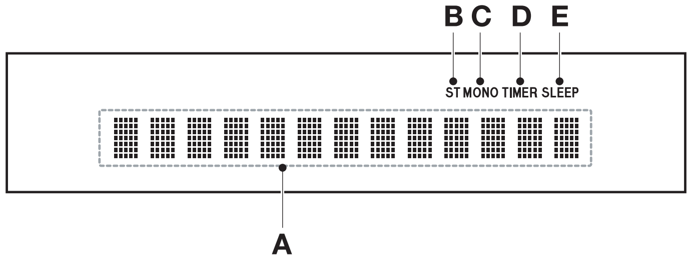
> ⚠注意
> Sビデオケーブル、D端子付ビデオケーブルはどちらかを使用してください。両方を使用すると、映像が正しく再生されないことがあります。

- 本機のD映像信号は、D2信号まで対応します。
- 本機は、D1～D4映像入力を持つテレビと接続できます。

❼電源コード

商用電源100V 50Hz／60Hzに接続します。

ステレオレシーバー(RA-18)の表示部



A. 表示部
時刻表示、受信周波数表示などを行います。

B. ST(ステレオ)インジケーター
FM放送のステレオ放送を受信すると点灯します。

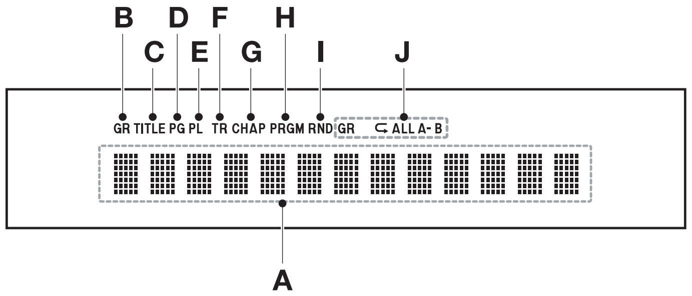
C. MONO(モノ)インジケーター
FM放送をモノラルで受信している時に点灯します。

D. TIMER(タイマー)インジケーター
タイマー設定時に点灯します。

E. SLEEP(スリープ)インジケーター
スリープタイマー設定時に点灯します。

♪ リモコンのモード切換スイッチをRA-18の位置にしてDISPLAYキーを押すと、押す度に現在のソース表示と時計表示に切り換わります。

DVDプレーヤー(DVA-18)の表示部



A. 表示部
タイトル/グループ/オリジナルプログラム/プレイリスト/チャプター/トラック番号、ディスクの種類、再生経過時間表示などを行います。

B. GRインジケーター
グループナンバー表示時に点灯します。

C. TITLEインジケーター
DVDビデオ再生時、タイトル番号表示時に点灯します。

D. PGインジケーター
DVD VR再生時、プログラムナンバー表示時に点灯します。

E. PLインジケーター
DVD-VR再生時、プレイリスト表示時に点灯します。

F. TR(曲番号表示)インジケーター
トラックナンバー表示時に点灯します。

G. CHAP(チャプター番号表示)インジケーター
DVDビデオ再生時、チャプター番号表示時に点灯します。

H. PRGM(プログラム演奏)インジケーター

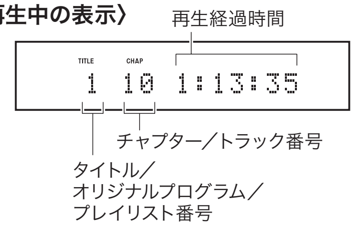
I. RND(ランダム演奏)インジケーター

J. GR ⊂ALL A-B(リピート)インジケーター

DVA-18の表示部について

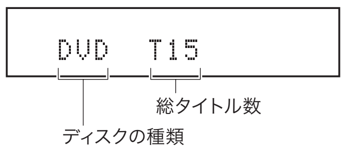
●DVDビデオ/DVD VR

〈再生中の表示〉



・ DVD VR再生中は、「VR」が表示され、「TITLE」の代わりに「PG」、「PL」が表示されます。

〈停止中の表示〉

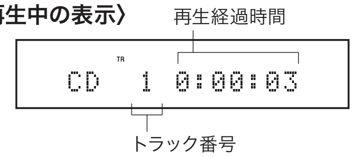


・ DVD VR停止中は、総タイトル数の代わりに総オリジナルプログラム数または総プレイリスト数が表示されます。

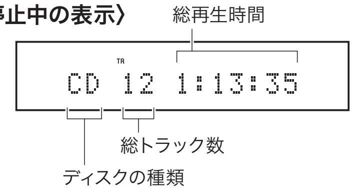
♪ リモコンのモード切換スイッチをDVA-18の位置にしてDISPLAYキーを押すと、押す度に表示部が通常の再生→ディスクの種類/タイトル番号/チャプター番号→通常の再生→…に繰り返し切り換わります。

●CD

〈再生中の表示〉

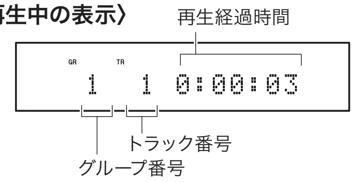


〈停止中の表示〉

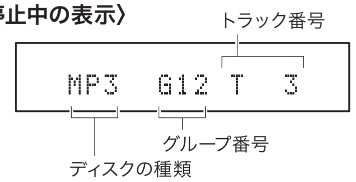


●MP3/WMA/ASF/MPEG1/MPEG2ディスク

〈再生中の表示〉

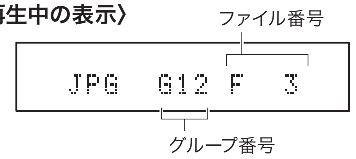


〈停止中の表示〉



●JPEGディスク

〈再生中の表示〉



♪ リモコンのモード切換スイッチをDVA-18の位置にしてDISPLAYキーを押すと、押す度に表示部が通常の再生→ファイルの種類/グループ番号/トラック番号→テキスト※→通常の再生→…に繰り返し切り換わります。

※ MP3/WMAディスクのみテキスト表示に切り換わります。
また、MP3/WMAディスクにファイル名などのテキストが記録されているときはテキストがDVA-18の表示部にスクロール表示されます。

ディスクについて

次のディスクが再生できます。

ディスクの種類	マーク(ロゴ)
DVDビデオ	
CD	
CD-R	
CD-RW	

次のディスクも再生できます。

	CD-R CD-RW	DVD-R	DVD-RW
CDフォーマット	○	ー	ー
MP3／WMA／ JPEGフォーマット	○	○	○
DVDビデオ フォーマット	ー	○	○
DVD VR フォーマット	ー	○	○
ASF フォーマット	○	○	○
MPEG1／MPEG2 フォーマット	○	○	○

・ディスクはすべてファイナライズ処理されている必要があります。

本機で再生できるディスクとファイルについて

・マルチボーダーで記録されたDVD-Rも再生できます。

・DVD-RがCPRMに対応しているときのみ、DVD VRフォーマットが使えます。

・UDFブリッジで記録されたディスクのみ再生できます。

・DVDビデオフォーマットで録画し、ファイナライズされたDVD+R、DVD+RWディスクが再生できます。

・"MIX-MODE CD"、"CD-G"、"CD-EXTRA"、"CD TEXT"ディスクは音声のみ再生できます。

"CD-R"、"CD-RW"および"DVD-R"、"DVD-RW"ディスクについて

・ディスクの特性、記録状態、傷、汚れまたは、プレーヤーのレンズの汚れ、結露などにより再生できないことがあります。

・ディスクをお使いになる前に、それぞれのディスクの使用上の注意をよくお読みください。

・CDテキストの表示には対応しておりません。

・CD／VCD／SVCD／MP3／WMA／JPEG／DVDビデオ／DVD VR／DivX／ASF／MPEG1／MPEG2フォーマット以外のフォーマットで記録したことのあるCD-RW、DVD-RWディスクは、一度全てのデータを消去してください。そのまま使用すると突然大きな音が出てスピーカーを破損するなどの原因になります。

再生できるCDについて

・再生できるMP3／WMA／JPEG／ASF／MPEG1／MPEG2ディスクおよびファイルはISO9660フォーマットで記録されたCDです(UDF-パケットライト形式で記録されたCDは再生できません)。

・マルチセッションで記録されたCDも再生可能。

再生できるファイルの拡張子について

・".mp3"、".wma"、".jpg"、".jpeg"、".asf"、".mpg"、".mpeg"の拡張子がついたファイルを再生できます(大文字小文字が混在した拡張子でも可)。

地域番号を確認してください

DVDプレーヤーとDVDディスクの地域番号(リージョンコード)が合っていなければ使用できません。地域番号はそれらの機器、DVDディスクが使用される国または地域ごとに割り当てられています。本機の場合はメディアセンターの底面にリージョンコードが記載されています。DVDディスクはジャケットやケースなどに記載されています。日本で視聴できるディスクには次のような記号があります。また、業務用ディスクの中には、本機での再生が禁止されているものがあります。

2　1 2 4　ALL　など

地域番号	おおよその該当地域
1	アメリカ、カナダ
2	日本、ヨーロッパ(東欧の一部を含む)、中近東
3	東アジア、東南アジア
4	オーストラリア、ニュージーランド、中南米
5	東欧、アフリカ(南アフリカ共和国、エジプトを除く)、インド
6	中国(香港を除く)
ALL	全地域

MP3／WMA／JPEG／ASFディスクおよびファイルについて

・ディスクの記録状態や特性により再生できないことや、読み込みに時間がかかることがあります。

・記録されているグループやトラック(ファイル)の数によって、読み込みの時間が異なります。

・MP3／WMA／JPEG／ASFのファイル名に半角英数字とカタカナ以外の文字が使われていると、トラック／ファイル名が正しく表示されません。

・ファイル表示画面(テレビ画面)に表示されるトラック／グループの順序は、パソコンの画面に表示される順序と異なることがあります。

・市販のMP3／WMAディスクを再生した場合、ディスクに記載されている順番と異なって再生される場合があります。

・MP3／WMA／JPEG／ASFのファイルが記録されているディスクは、再生が開始されるまで時間がかかる場合があります。また、再生が始まるまで経過時間は表示されません。再生が始まっても正確な経過時間が表示されない場合があります。

・MP3／WMAファイルは、サンプリング周波数44.1kHz、転送ビットレート128kで作成されたものを推奨します。

・MP3iおよびMP3PROには対応しておりません。

・JPEGファイルはDCF(Design rule for Camera Filesysutem)規格準拠のデジタルカメラで撮影したJPEGデータが表示できます。ただし、デジタルカメラ固有の機能(自動回転機能など)を使用したものは表示できない場合があります。

・パソコンの画像編集ソフトなどで加工、編集、再保存したデータは表示できないことがあります。

・MOTION JPEGなどの動画やJPEG以外の静止画および音声付画像は再生できません。

・JPEGファイルの解像度について
"8192ピクセル×7680ピクセル"を超える画像は表示できません。推奨解像度は"640ピクセル×480ピクセル"です。これより大きなものは表示に時間がかかる場合があります。

・ASFファイルは最大ビットレート384kbps、音声コーダ・デコーダG.726で作成されたファイルを推奨します。再生画像の最大解像度は"352ピクセル×288ピクセル"(CIF)です。

MPEG1／MPEG2ディスクおよびファイルについて

・ストリーム構造について
MPEGシステムストリーム規格またはMPEGプログラムストリーム規格に合致している必要があります。

・推奨する解像度
フレームレート25fpsの場合：352ピクセル×576ピクセル、480ピクセル×576ピクセル、352ピクセル×288ピクセル。

フレームレート30fpdの場合：352ピクセル×480ピクセル、480ピクセル×480ピクセル、352ピクセル×240ピクセル。

・解像度をあげる場合は720×576pixels(25fps)／720×480pixels(30fps)までをお勧めします。

・プロファイルとレベルは
MP@ML(Main Profile at Main Level)、SP@ML(Simple Profile at Main Level)またはMP@LL(Main Profile at Low level)である必要があります。

・オーディオストリームはMPEG1 Audio Layer II または MPEG2 Audio Layer IIである必要があります。

マルチチャンネル音声について

・本機はマルチチャンネル音声をダウンミックスして再生します。

テレビ方式について

・本機は日本やアメリカなどのテレビ方式のNTSCに適合しています。NTSC以外のテレビ方式(PALなど)用のDVDもNTSC方式に変換して再生※できます。

※ディスクによっては映像がコマ送りになり、画面の縦横比率が変わるなど、正しく再生できないことがあります。

ディスクの構成について

●DVDビデオ

DVDビデオは、"タイトル"と呼ばれる大きな単位とそのタイトルに含まれる"チャプター"と呼ばれる小さな単位で構成されています。

タイトル1／ オリジナルプログラム1／ プレイリスト／			タイトル2／ オリジナルプログラム2／ プレイリスト／	
チャプター1	チャプター2	チャプター3	チャプター4	チャプター5

●CD

CDは、"トラック"と呼ばれる単位で構成されています。

トラック1	トラック2	トラック3	トラック4	トラック5

●MP3／WMA／JPEG／ASF／MPEG1／MPEG2ディスク

これらのディスクには、静止画像がトラック／ファイルとして記録されています。トラック／ファイルは通常フォルダーにまとめられています。フォルダーにはさらに別のフォルダーを含むことができ、フォルダー階層を構成します。本機ではこのフォルダー階層を"グループ"としてあつかっています。

グループ1		グループ2		
トラック1／ ファイル1	トラック2／ ファイル2	グループ3	グループ4	グループ5

本機はディスク1枚につき

・4000のトラック／ファイル

・99のグループ(1グループにつき150のトラック／ファイルまで)

を認識できます。

これらの数を超えるファイル／トラック／グループは認識されず、再生できません。

※MP3／WMA／JPEG／ASF／MPEG1／MPEG以外のファイルがディスクに含まれている場合、そのファイルの数も総ファイル数に含まれます。

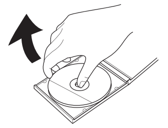
ディスクについて

結露現象について

冬、暖房のきいた部屋の窓ガラスに水滴がつき、くもってしまう現象、これが結露現象です。プレーヤーも冷えきった状態のまま暖かい部屋に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、光学系のレンズ(ピックアップのレンズ部分)に露が生じ(結露)、レーザーによるディスクからの信号読み取りができず、プレーヤーが動作しないことがあります。

このような現象が生じた場合は、周囲の状況にもよりますが、電源を入れ1時間程放置すると結露が取り除かれプレーヤーは正常に動作するようになります。

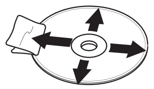
ディスクをケースから取り出すときは、必ずケースの中心を一度押して、ディスクの外周部分を手ではさむように持って取り出してください。



ディスクを持つ場合には、演奏面（ラベルの印刷していない面）に触れないように、両端をはさんで持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

ディスクの表面はいつもきれいに

ディスクの表面を拭くときは必ずディスク専用のクリーナーを使用して下の図のように拭いてください。



※ディスクは、プラスチック製です。従来のアナログディスク用のクリーナーや帯電防止剤、ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の薬品を使用すると、ディスクの表面に悪い影響を与えますので絶対に使用しないでください。

ディスク保管上の注意

ディスクはケースに入れて正しく保管しましょう。ディスクを大切にするため次のような場所に置くことはさけてください。

●直射日光の当たる場所。
●暖房器具の近くや空調の吹き出し口などの高温になる場所。
　または高温になる物の上。
●車の中などの高温になる場所。
●投光照明機などの発熱物の近くの場所。
●極端に寒い場所。
●湿気や水分のある場所、プール、浴室などの湿気の多い場所。
●屋外や直接水のかかるところ。

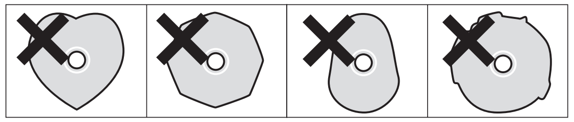
ディスクの取り扱いについて

ディスクの表面にキズをつけないよう大切に扱ってください。

ディスクのセットは、必ずレーベル面を上にして、セットしてください。

七色に輝く面が表面です。レーベル面が裏面になります。従来のレコードプレーヤーと異なり、プレーヤーは、レーザー光線のスタイラスでディスクの下側からディスクに触れることなく情報を読み取ります。したがってディスクは従来のレコードのように、使っているうちに性能が劣化するようなことはありません。

- レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンなどで文字を書かないでください。
- 再生が終わったディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。
- ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのままプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- ディスクは、2枚以上重ねて置いたり、ディスク以外のものをトレーの上に置いたりしないでください。故障の原因になります。
- 市販のディスク用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となることがあります。
- MP3／WMA／JPEG／ASF／MPEG1／MPEG2フォーマット以外のDVD-ROM、DVD-RAM、CD-ROM、CD-I(CD-I Ready)、DVD Audio、Photo CD、SACDは再生できません。
- ハート型や八角形など特殊形状のディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。



言語コード表

AA	アファル語	IK	イヌピック語	RN	キルンディ語
AB	アブハジア語	IN	インドネシア語	RO	ルーマニア語
AF	アフリカーンス語	IS	アイスランド語	RW	キニヤルワンダ語
AM	アムハラ語	IW	ヘブライ語	SA	サンスクリット語
AR	アラビア語	JI	イディッシュ語	SD	シンド語
AS	アッサム語	JW	ジャワ語	SG	サンド語
AY	アイマラ語	KA	グルジア語	SH	セルボアクロアチア語
AZ	アゼルバイジャン語	KK	カザフ語	SI	シンハラ語
BA	バシキール語	KL	グリーンランド語	SK	スロバキア語
BE	ベラルーシ語	KM	カンボジア語	SL	スロベニア語
BG	ブルガリア語	KN	カンナダ語	SM	サモア語
BH	ビハーリー語	KO	韓国(朝鮮)語	SN	ショナ語
BI	ビスラマ語	KS	カシミール語	SO	ソマリ語
BN	ベンガル語、バングラ語	KU	クルド語	SQ	アルバニア語
BO	チベット語	KY	キルギス語	SR	セルビア語
BR	ブルトン語	LA	ラテン語	SS	シスワティ語
CA	カタロニア語	LN	リンガラ語	ST	セストゥ語
CO	コルシカ語	LO	ラオス語	SU	スンダ語
CS	チェコ語	LT	リトアニア語	SV	スウェーデン語
CY	ウェールズ語	LV	ラトビア語、レット語	SW	スワヒリ語
DA	デンマーク語	MG	マダガスカル語	TA	タミール語
DZ	ブータン語	MI	マオリ語	TE	テルグ語
EL	ギリシャ語	MK	マケドニア語	TG	タジク語
EO	エスペラント語	ML	マラヤーラム語	TH	タイ語
ET	エストニア語	MN	モンゴル語	TI	ティグリニャ語
EU	バスク語	MO	モルダビア語	TK	トゥルクメン語
FA	ペルシャ語	MR	マラータ語	TL	タガログ語
FI	フィンランド語	MS	マライ(マレー)語	TN	セツワナ語
FJ	フィジー語	MT	マルタ語	TO	トンガ語
FO	フェロー語	MY	ミャンマー語	TR	トルコ語
FY	フリジア語	NA	ナウル語	TS	ツォンガ語
GA	アイルランド語	NE	ネパール語	TT	タタール語
GD	スコットランドゲール語	NL	オランダ語	TW	トゥイ語
GL	ガルシア語	NO	ノルウェー語	UK	ウクライナ語
GN	グアラニ語	OC	プロバンス語	UR	ウルドゥー語
GU	グジャラード語	OM	(アフォン)オロモ語	UZ	ウズベグ語
HA	ハウサ語	OR	オリヤー語	VI	ベトナム語
HI	ヒンディー語	PA	パンジャブ語	VO	ヴォラピュク語
HR	クロアチア語	PL	ポーランド語	WO	ヴォロフ語
HU	ハンガリー語	PS	パシュトー語	XH	コーサ語
HY	アルメニア語	PT	ポルトガル語	YO	ヨルバ語
IA	国際語	QU	ケチュア語	ZU	ズール語
IE	国際語	RM	ラエティーロマン語		

用語説明

ASF ……… Advanced Streaming Formatの略。マルチメディアデータをストリーミング配信するのに適したファイルフォーマット。動画や音声のほかにもテキストデータなどを同一ファイルとして埋め込むことができる。

DTS ……… デジタル音声の圧縮方式で、DTSは、米国・DTS（Digital Theater Systems）社が開発したデジタルマルチチャンネル圧縮音声規格。映画館などで採用されており、マルチチャンネル音声に対応している。

"DTS"、"DTS Digital Surround"はDTS（Digital Theater Systems）社の商標。

DVD ……… 12cmおよび8cmの光ディスクを利用した映画、音楽、コンピューターデータなど様々な用途に応用される大容量光ディスクの規格。デジタル・ビデオ・ディスクまたは、デジタル・バーサタイル・ディスクの頭文字。

DVDビデオ ……… 読み出し専用DVDにビデオ（動画や音声）を収録する規格のこと。画像にMPEG-2、音声にDolby AC-3、リニアPCM、MPEGオーディオ、DTS等の圧縮方式を用いて、片面1層あるいは、2層のディスクに2時間程度の映画を収録できる。ユーザーが好みのカメラアングルを選択再生できるマルチアングル機能や、最大8ストームの音声、最大32カ国語の字幕スーパーを選択再生できるマルチランゲージ機能など、多くの機能を持っている。

JPEG ……… 静止画像を1／10〜1／100に圧縮する技術。圧縮率が高いわりに画質の低下が少ないのが特徴。

MPEG ……… Moving Picture Expert Group（通称MPEGフォーマットフォーラム）が定めた動画圧縮の国際規格。ISOにより設置された専門家組織の名称がそのまま使われている。画像の中の動く部分だけを検出し保存するなどしてデータを圧縮する。MPEG-1からMPEG-4までの各規格が定められており、再生品質はMPEG-1がVTR並み、MPEG-2がハイビジョンテレビ並み。

MPEG-1 ……… 1990年に規格化された動画圧縮技術で、再生品質はVTR並み。

MPEG-2 ……… MPEG-1フォーマットより画質を向上させたフォーマット。DVD-Videoの形式に用いられている。

MP3 ……… MPEG-1 Audio Layer3を略したもの。MPEGオーディオは音声情報を圧縮するための規格で、音声ファイルを圧縮する方法の違いによって、レイヤー1（Layer1）からレイヤー3（Layer3）までの3通りが規格されている。圧縮率はレイヤー3が一番高い。

NTSC ……… テレビジョン（テレビ）放送通信の標準プロトコルと周波数の方式を策定するアメリカの標準化委員会の名称。NTSC信号は、水平方向の走査線数が525本で毎秒30フレーム（1秒間に30回画面を書き換える）のインターレース方式。

PAL ……… PALは地上波アナログカラーテレビ放送の方式の一つで、主にフランス以外の西ヨーロッパ諸国をはじめ、中国などのアジア諸国やアフリカなどで利用されている。水平方向の走査線数が625本（ブラジルでは525本）で、毎秒25フレーム（1秒間に25回画面を書き換える）のインターレース方式。

PCM（リニアPCM） ……… アナログ信号を圧縮せずにデジタルでコード化された信号。音楽CDおよびレーザーディスクに使用されたデジタル音声信号の形式。

S映像出力 ……… 映像の出力方式。映像の信号をカラーと輝度の信号に分けて伝送するため、ビデオケーブルで接続するよりも鮮明な映像を見ることができる。

VOB ……… DVDの動画データを格納するマルチメディアフォーマット。「.vob」という拡張子がふられていて映像と音声、字幕などの情報が含まれていまる。映像コーデックにはMPEG-2が使用され、音声コーデックはリニアPCM、MP2、AC3などが対応している。

WMA ……… 音声圧縮フォーマットの一種。

YPbPr ……… コンポーネントアナログ映像信号のこと。

アスペクト（縦横）比 ……… テレビ画面の横（幅）と縦（高さ）の比率。標準のテレビ画面は4：3でワイドテレビの画面が16：9である。

インターレース出力 ……… 映像の出力形式。1本おきに走査線を引いていくこと。テレビ放送のほとんどがインタレース方式を採用している。

コンポーネント映像信号 ……… 映像信号を輝度信号（Y）、色差信号Pr（R-Y）、色差信号Pb（B-Y）の3つに分けて送るため、Sビデオ信号よりさらに質の高い映像が得られる。また、プログレッシ映像出力にも対応しており、高密度な映像を楽しむことができる。

コンポジット映像信号 ……… 輝度、色および同期情報を含んでいる、一本のビデオ信号。NTSCとPALはコンポジット映像信号の種類。

タイトル ……… DVDビデオディスクに記録された一番大きな単位でビデオクリップの集合。チャプターが集まったものがタイトルで、タイトルが集まったものが一枚のディスク。

チャプター ……… DVDでの正式な用語ではPart of title（パートオブタイトル：PTT）と呼ぶ。ひとつのタイトルをいくつかに区切った単位でチャプターが入っているディスクでは、各チャプターごとに頭だしできるので見たいシーンの検索が楽になる。

トラック ……… オーディオ・テープやディスクに記録された選択できる個々のデータの単位。音楽CDやMP3では曲（1トラック目=1曲目）ともいう。

ドルビーデジタル ……… デジタル音声の圧縮方式で、ドルビー社によって開発されたデジタルマルチチャンネル圧縮音声規格。モノラルから5.1チャンネルまでに対応。DVDビデオの5.1チャンネル音声方式に用いられているデジタル音声の圧縮方式。ドルビーデジタル方式の音声圧縮はDVDビデオでは最も一般的な音声圧縮方法。

パン・スキャン ……… 標準（横：縦4：3）の画面に横：縦16：9の映画などの画像を画面の上下いっぱいまで映して画面からはみ出す左右の映像をカットして表示するモード。このモードでは縦横比が正しく、画面全てに映像が表示されるが、画像の左右の部分がカットされて見えなくなってしまう。

ビットレート ……… 画質や音質を決定する値です。ビットレートが高くなると画質や音質が向上するが、ファイルの容量が大きくなる。

プログレッシブ出力 ……… 映像の出力形式。1回の画面表示を1回の走査で行うこと。ノンインターレース表示とも呼ばれる。

レターボックス ……… 標準（横:縦4：3）の画面に横:縦16：9の映画などの画像を画面の左右いっぱいまで映して上下に余白を入れる表示モード。このモードでは縦横比が正しく、全ての映像が表示されるが、上下に黒い帯が入り、表示面積が小さくなってしまう。

※ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

・本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国許可及びその 他の知的財産権によって保護されています。
この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、またマクロビジョン社の許可がない限り家庭用及びその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

・本機は、ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

※Dolby、ドルビー、及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
「DTS」および「DTSデジタルサウンド」はDTS社の登録商標です。

※著作権1996年、2000年DTS社。不許複製。

故障かな？

サービスの依頼をする前に

サービスのご命名の前に取扱説明書をよくお読みいただき、操作、接続の確認、セットの故障でない雑音等について、ご面倒ですが今一度お確かめください。サービスのご依頼で実際に点検してみますと故障でない場合がございます。

本機は精密電子機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正確に動作しないことがあります。この場合は機器の電源プラグをACコンセントから抜き、2分以上放置して再度差し込んで電源を入れてください。

症 状	原 因	処 置
電源が入らない	電源プラグがコンセントに差し込まれていないか、はずれている。	RA-18、DVA-18の電源プラグをコンセントに差し込みます。
音が出ない	システムコントロールケーブルやスピーカーケーブルが正しく接続されていない。 MUTE（ミュート）が働いている。 ヘッドホンが接続されている。 プロテクター回路が働いている。	8〜9ページを参考にして、接続を確認してください。 リモコンのMUTE（ミュート）キーを押してください。 ヘッドホンが接続されていると、スピーカーからは音が出ません。ヘッドホンを使用しないときは、抜いておいてください。 スピーカー端子のショートなどでステレオレシーバーのプロテクター回路が働くと、音が出なくなります。この場合は、スレテオレシーバーの電源プラグを抜き、原因を取り除いてから再度差し込んでください。
急に電源が切れた	スリープタイマーが働いている。	リモコンのSLEEP（スリープ）キーを押すと、スリープタイマーが動き始めます。 キーを何度か押してインジケーターを消してください。
CD／DVDの演奏ができない	ディスクが裏返しになっている。 ディスクにキズやソリがある。 ピックアップレンズが結露している。	レーベル面を上にしてディスクをセットしてください。 ディスクを取り変えて演奏してみてください。 ディスクを取り出し、電源を入れたままで1時間ぐらい待ってから再び演奏してください。
放送が受信できない	アンテナの接続や設置が正しく行われてない。	12〜13ページのアンテナの接続を参考にアンテナとアンテナケーブルの接続、アンテナの方向などをチェックしてください。
リモコンによる操作ができない	乾電池が消耗している。 途中に障害物がある。 システムコントロールケーブルが正しく接続されていない。 プラズマテレビを使用している。	2本とも新しい乾電池に交換してください。 障害物をとり除いてください。 8〜9ページを参考にして接続を確認してください。 プラズマテレビの影響を受けないように離します。
時計表示が消えた 放送のプリセットが消えた タイマーのセットが消えた	次の理由で電源が切れた。 ・ステレオレシーバーのプラグを抜いた ・停電が起きた ・配電盤のブレーカーが働いた	電源が切れた場合は、時刻のセット（16ページ）、放送局のプリセット（46ページ）、タイマーの使いかた（48ページ）をやり直してください。
各キーの操作ができない	ディスクで操作が禁止されている。	ディスクによっては、特定の操作が禁止されている場合があります。
リモコンによる操作ができない	リモコンモード切換スイッチを誤った位置にしている。	リモコンのモード切換スイッチを合わせてください。

症 状	原 因	処 置
CD／DVDの演奏ができない	DVDビデオのリージョンコードが合っていない。	リージョンコード「2（2を含む）」または「ALL」のディスクを使用してください。
MP3／WMA／JPEG／ASF／MPEG1／MPEG2ファイルが再生できない	ディスクに異なる種類のファイルが複数記録されている。	優先ファイルの設定（21ページ参照）を確認してください。
映像が出ない	ビデオケーブルが正しく接続されない。 D2映像出力端子と、S1／S2映像出力端子を両方同時につないでいる。	8〜9ページを参照して正しく接続してください。 どちらか片方だけにしてください（8〜9ページ参照）。
映像が乱れる	DVA-18とテレビの間にビデオデッキを接続している。	DVA-18とテレビは直接つないでください（8〜9ページ参照）。
画面サイズがおかしい	画面サイズの設定が間違っている。	TV画面の設定（21ページ参照）はお使いのテレビに合わせてください。
テレビ画面が暗くなる	スクリーンセーバーが「オン」になっている。	なにかボタンを押します。スクリーンセーバーを働かなくするには、スクリーンセーバーの設定(21ページ参照)を「オフ」にしてください。
音声／字幕言語の切り換えができない	ディスクに複数の言語や音声が収録されていない。	複数の言語や音声の収録されているディスクを使用してください。
字幕が出ない	ディスクに字幕が入っていない。 字幕言語が「オフ」になっている。 A-BリピートのAポイント、Bポイントの前後である。	字幕の入っているディスクを使用してください。 言語を選んでください（20ページ参照）。 A-BリピートのAポイント、Bポイント前後では字幕が表示されない場合もあります。
ディスクが取り出せない	チャイルドロックがされている。	チャイルドロックを解除してください（27ページ）。

故障及び修理のお問い合わせは、ボーズ・サービスセンター株式会社　フリーダイヤル0120-235-250
住所　〒206-0035　東京都多摩市唐木田1-53-9　唐木田センタービル

製品等のお問い合わせは、ボーズ株式会社インフォメーションセンター　☎03-5489-0955

までご連絡ください

仕　様

ステレオレシーバー（RA-18）

外形寸法：245（W）×81（H）×295（D）mm
質量：2.5kg（本体のみ）

FM部

周波数範囲（STEP）：76.0〜108.0MHz（50kHzステップ）
実用感度（IHF）：14dBf（MONO）
周波数特性
　ステレオ：30〜14.500Hz（0、–3dB）
全高調波歪率：0.5%（1kHz、65dBf）
SN比：69dB（65dBf）
ステレオセパレーション：37dB（1kHz、65dBf）

AM部

周波数範囲（STEP）：531〜1,629kHz（9kHzステップ）
実用感度（ループアンテナ）：59dBμV/m
全高調波歪率：0.6%
SN比：48dB（100dBμV/m）

アンプ部

実用最大出力：42W+42W（1kHz THD10%、6Ω）
全高調波歪率：0.03%（6Ω、10W 1kHz）
SN比
　AUX：86dB（IHF-A）
　PHONO：73dB（IHF-A）
負荷インピーダンス：6Ω〜16Ω
入力感度／入力インピーダンス
　CD、AUX1：200mV/47kΩ
　AUX2：100mV（High）／200mV（Low）
　PHONO：2.5mV／47kΩ
最大許容入力（1kHz）
　CD、AUX：2.0V
周波数特性
　AUX：20〜22.000Hz（±0.5dB、1W）
チャンネルセパレーション：63dB

その他

電源電圧：AC100V
電源周波数：50／60Hz
消費電力：40W（電気用品安全法）
省エネモード時：約0.7W

DVDプレーヤー（DVA-18）

外形寸法：245（W）×81（H）×270（D）mm
質量：2.1kg（本体のみ）

周波数特性：20〜20,000Hz（±0.5dB）
出力電圧：2V rms
全高調波歪率：0.004%
SN比：98dB（A-WTD）
ワウ&フラッター：測定限界値以下
ピックアップ：3ビーム・レーザー

その他

電源電圧：AC100V
電源周波数：50／60Hz
消費電力：9W（電気用品安全法）約0.3W（スタンバイ時）

リモコン ……………………1	ビデオケーブル（2m）……………………1
単3乾電池(チェック用)……………………2	オーディオピンケーブル（0.5m）……………………1
FMアンテナ……………………1	システムコントロールケーブル（1m）……………………1
AMループアンテナ……………………1	

保　証

保証の内容および条件は付属の保証書をご覧ください。

BOSE®
Better sound through research®

http://www.bose.co.jp/

ボーズ株式会社
〒150-0044 東京都渋谷区円山町28-3 渋谷YTビル TEL 03-5489-0955

●仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
●弊社取扱以外の製品については、保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

OM-1339
06・08-D-A・1（I）
LVT1636-001A